

TOTO

TOTO

取扱説明書

施工説明書付

定期点検情報掲載

ウォシュレット® KS2 TCF355

washLÉT®



安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
上手な使いかた	5
機能の紹介	6
各部のなまえ	7

取り付けかた	9
ご使用前の確認	26

標準的な使いかた	28
温度調節のしかた	29
脱臭のしかた	30
節電のしかた	32

お手入れの前に	35
日常のお手入れ	36
念入りなお手入れ	37
●本体、便座、便ふた	37
●本体と便器のすき間	39
定期的なお手入れ	39
●電源プラグ	39
●脱臭フィルター	40
●ノズル	40
●給水フィルター	41

凍結による破損の予防及び 長期間使わないときの処置	42
故障かな?と思ったら	45
脱臭カートリッジの取り替えかた	48
アフターサービス	49
定期点検情報	49
仕様	50
交換部品／別売品	51

■このたびは、ウォシュレットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■定期的に交換が必要な部品があります。
詳しくは49ページ「アフターサービス」の「定期点検情報」をご覧ください。

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

TOTO(株)お客様相談室へ
TEL ☎0120-03-1010
FAX ☎0120-09-1010
受付時間：平日 9:00-18:00
土・日・祝日 10:00-18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ
TEL ☎0120-1010-05
FAX ☎0120-1010-02
受付：年中無休
受付時間：関東・甲信越地区 8:00-20:00
上記以外の地区 9:00-20:00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）
営業時間：9:00-18:00

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ
TEL ☎0120-8282-55
FAX ☎0120-8272-99
受付時間：平日 9:00-18:00
土・日・祝日 10:00-18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

愛情点検	ときどきウォシュレットの点検をしましょう！	
	こんな症状はありませんか？	●コードを動かしたりすると、電源が切れたり入ったりする ●電源プラグやコード及び本体などが異常にあつい ●本体から異常な音やにおいがする ●本体から水漏れしている
		このような症状のときは、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、必ずTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。 ※異常・故障状態のままのご使用は、火災、感電、室内浸水の原因になります。

修理を依頼される前に「故障かな?と思ったら」の項をご確認ください。

TOTO株式会社

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

2008.10.31
D06916N

はじめに

取り付け

使いかた

お手入れ

こんなときは？

お客様専用窓口

安全上のご注意

必ずお守りください。

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示と意味は次のようになっています。

お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

絵表示の意味



○は、してはいけない「禁止」の内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。



●は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
左図は、「必ず守る」を示します。



警告



水かけ禁止

本体や電源プラグに水や洗剤をかけない
●火災や感電の原因になります。



水場使用禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない
●火災や感電の原因になります。



分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造は行わない
●火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
●感電の原因になります。



禁止

故障したままでウォシュレットを使いつづけない
●次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。

故障とは・・・

- ・配管や本体から水漏れしている
- ・製品にひびや割れが入っている
- ・異音、異臭がしている
- ・製品から煙がでている
- ・製品が異常に熱い

●故障したまま使いつづけると、火災や感電、室内浸水の原因になります。
☎アフターサービスは49ページ



警告

電源コードや便座コードを破損するようなことはしない

引っ張らない、ねじらない、無理に曲げない、
傷つけない、加工しない、加熱しない、
重いものを載せない、便器と便座の間にはさまない



●傷んだまま使用すると、火災、感電、ショートの原因になります。



禁止

ガタついているコンセントは使わない

●火災や感電の原因になります。

指定する電源（交流100V）以外では使用しない

●火災の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

●たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



水道水及び飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しない

●皮膚の炎症などを起こす原因になります。

逆流防止装置（バキュームブレーカー・Oリング）は水の安全を確保するために定期的な点検を行う

●逆流防止装置（バキュームブレーカー・Oリング）が正常に機能しないと、状況によっては一度吐出した水が逆流する原因になります。
☎定期点検情報は49ページ



必ず守る

低温やけどに注意する

●ながい時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。
●次のような方が暖房便座をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」にしてください。

- ・お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方
- ・病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方
- ・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方
- ・深酒をされた方、疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方

電源プラグの刃などに付いたほこりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む

●火災や感電の原因になります。
プラグを抜き、かわいた布でふいてください。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く

●コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。



プラグ抜き励行

お手入れのときに必ず電源プラグをコンセントから抜く

●感電の原因になります。
※「ノズルそうじスイッチ」機能使用時は除く



アース接続

アース（D種接地）工事がされていることを確認する

●アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因になります。
アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。

⚠ 注意



火気禁止

たばこなどの火気類を近づけない

- 火災の原因になります。



禁止

お手入れをするときは、ウォシュレットクリーナーやうすめた台所用洗剤（中性）を使用し、次のものは使わない

（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー及びナイロンたわしなど）

- プラスチックを傷め、割れてけがをする原因になります。
- 給水ホースを傷め、水漏れの原因になります。

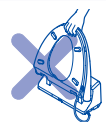
強い力や衝撃を与えない、便座・便ふたや本体の上に乘らない、重いものを載せない

- 割れたり、本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



便座・便ふたを持って製品を持ち上げない

- 本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

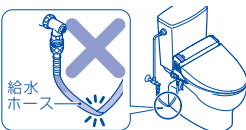


止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない

- 水が噴き出します。 (給水フィルターのお手入れは41ページ)

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

- 水漏れの原因になります。



施工は施工説明書に従って確実にを行う

- 正しく取り付けていないと水漏れ、感電、火災の原因になります。 (取り付けかたは9ページ)

長期間使用しないときは止水栓を閉めて水を抜き、電源プラグを抜く

(水抜きのしかたは43ページ)

- 再使用するときは、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になりますので、再通水してご使用ください。 (再通水のしかたは44ページ)



必ず守る

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める



給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める

- 確実に締めないで水漏れの原因になります。

凍結による破損の予防を行う

- 凍結すると給水配管や本体内部が破損して、水漏れする原因になります。
- 暖房するなどしてトイレをあたためてください。 (凍結による破損の予防は42～44ページ)

はじめに

使用上のご注意

次のことをお守りください。

本体、便座、便ふたはかわいた布やトイレットペーパーなどでふかない

傷つきの原因になります。

(お手入れのしかたは35ページ)

本体やノズルに小便がかからないようにする

故障の原因になります。



便ふたに寄りかからない

便ふたや本体が傷つく原因になります。



便座の上に幼児用補助便座・やわらか補高便座などを置いて使用した場合は、使用後取りはずす

一部の機能が使用できなくなることがあります。

直射日光が当たらないようにする

変色や暖房便座の温度ムラが生じる原因になります。

着座センサー及びリモコン送信部・受信部をおおわない

ウォシュレットが誤作動する原因になります。



雷が発生しているときは、電源プラグを抜く

故障の原因になります。



ラジオなどはウォシュレットから離して使う

ラジオに雑音が入ることがあります。

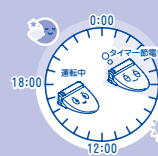
はじめに

上手な使いかた

上手に節電をして、地球環境を保護しましょう。

タイマー節電を使いましょう

一度設定すると毎日その時間に温水と便座のヒータが切れて節電します。節電時間は3・6・9時間のいずれかに設定できます。 (33ページ)



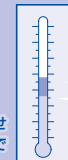
タイマー節電中!



タイマー節電とおまかせ節電を同時に使うことができます。

おまかせ節電を使いましょう

トイレをあまり使わない時間帯を記憶して、自動で便座の温度を下げて節電します。 (34ページ)



30～38℃

おまかせ節電中!

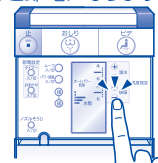
おまかせ節電中 便座温度は26℃



温度調節を低めにしましょう

寒さを感じない範囲で、温度を低めに調節すると節電になります。

(29ページ)



便ふたを閉めましょう

便ふたを閉めておくと、便座表面の熱が逃げにくくなり節電になります。



長時間使用しないときは「運転入/切」スイッチを「切」にしましょう

外出時などに「切」にしておくと節電になります。

安全上のご注意／使用上のご注意／上手な使いかた

機能の紹介

製品名称、製品品番は便ふたの裏に記載しています。

洗浄機能

		参照ページ
おしり洗浄	おしりを洗います。	28
ビデ洗浄	女性のビデとして使えます。	28
水勢調節	水勢の強弱を調節できます。	28
ムーブ洗浄	ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。	28

快適機能

		参照ページ
暖房便座	便座をあたためます。	—
温度調節	温水、便座の温度を調節できます。	29
脱臭	便器内のおいを取ります。	30, 31
パワー脱臭	吸い込む力をアップさせて便器内のおいを取ります。	30, 31
オートパワー脱臭	便座から立ち上がると自動でパワー脱臭を行います。	30, 31
リモコン	ラクな姿勢で操作できます。	8
ソフト閉止	便座・便ふたがゆっくり閉まります。	—
着座センサー	便座に座ると各機能がはたらきます。	28

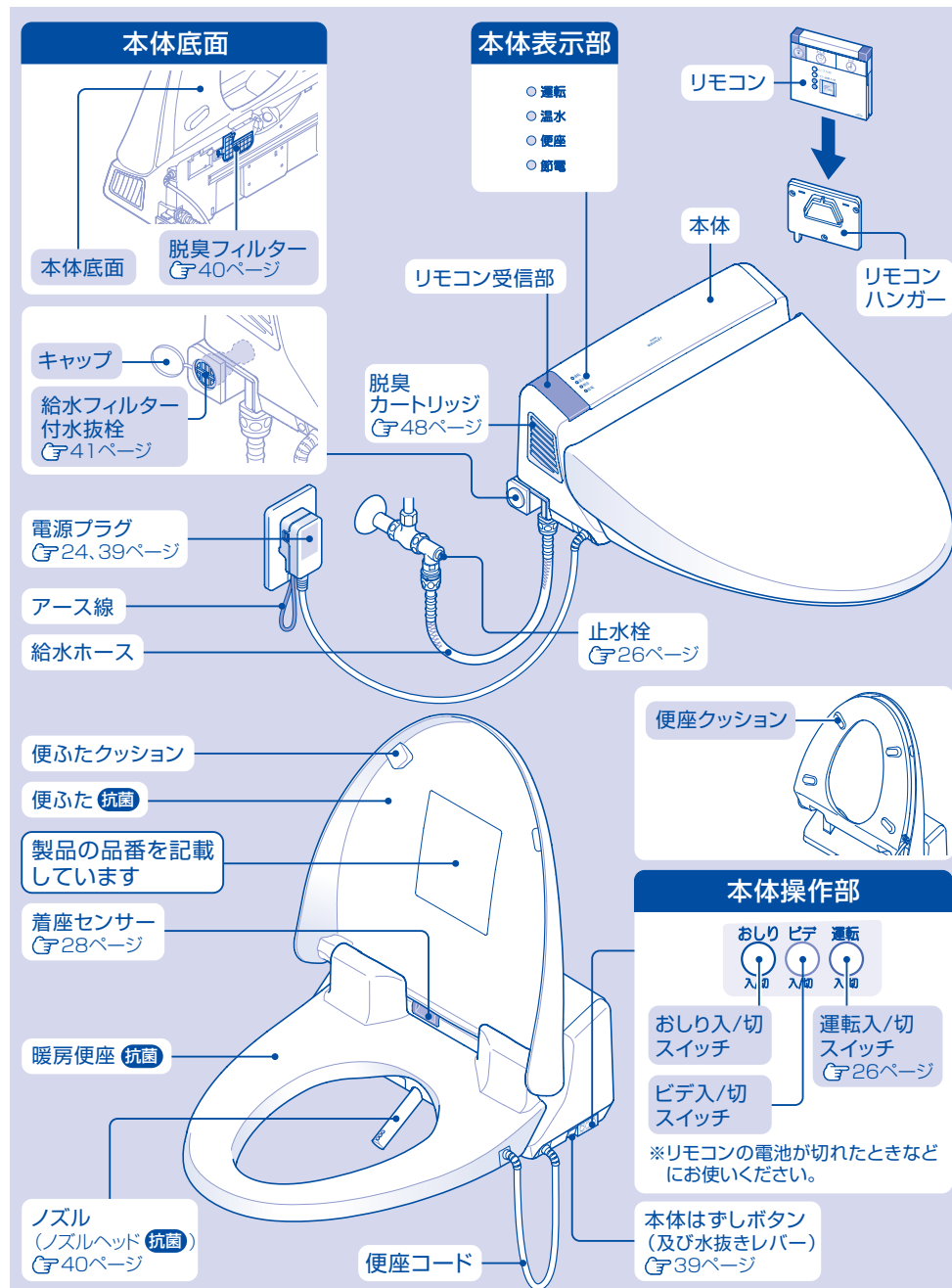
節電機能

		参照ページ
タイマー節電	一度設定すると毎日その時間に温水と便座のヒータが切れて節電します。 (節電時間は3・6・9時間のいずれかに設定できます。)	33
おまかせ節電	トイレをあまり使用しない時間帯を記憶して、自動で便座の温度を下げて節電します。	34
運転入/切スイッチ	このスイッチを「切」にすることで暖房便座などの運転を停止して、こまめな節電ができます。	7, 26

清潔機能

		参照ページ
便座・便ふた着脱	便座・便ふたが簡単に、取りはずせます。お掃除も簡単です。	37, 38
本体ワンタッチ着脱	本体がワンタッチではずせます。 便器の奥まで簡単にお掃除できます。	39
抗菌	便座、スイッチなど直接肌がふれやすいところに抗菌処理をしています。	7, 8, 50
セルフクリーニング	洗浄の前後に、ノズル先端部を自動でしっかり洗います。	—
ノズルまるごと洗浄	ノズルが伸出・収納するときに、ノズル本体をしっかり洗います。	—
クリーンコートノズル	ノズル本体に汚れの付きにくいコーティングをしています。	36
ノズルそうじスイッチ	ノズルがお湯を出さずに伸出しますので、お掃除もラクにできます。	40

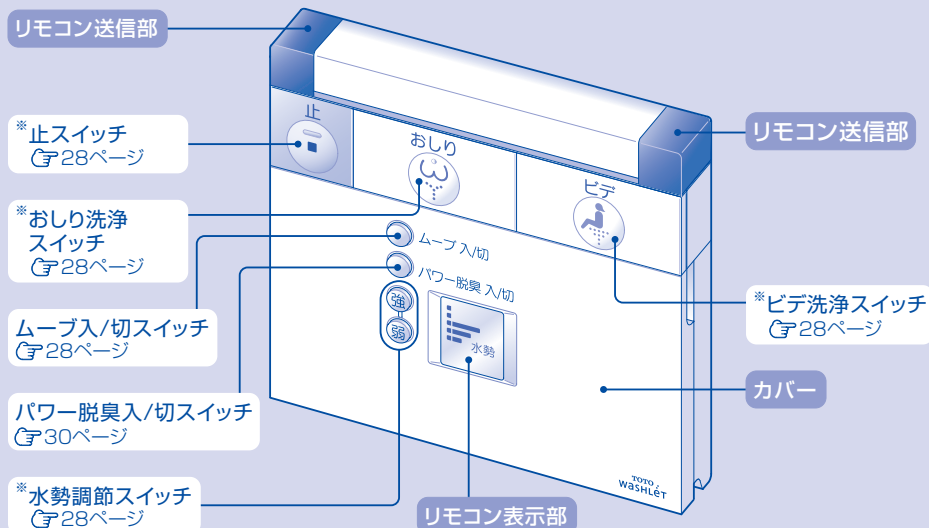
各部のなまえ



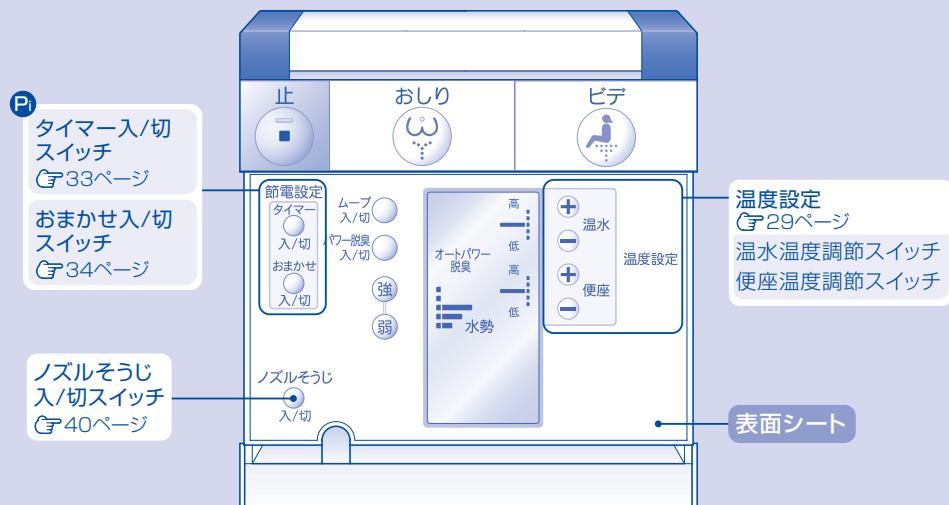
- 目の不自由な方のためにに触覚記号(突起)を設けました。
- ※部スイッチ用として点字シールを同梱しています。必要なときにご使用ください。

カバーを開めたとき

抗菌：スイッチは抗菌処理をしています。



カバーを開けたとき



P：本体がリモコンの信号を受けると「ピッ」という電子音が鳴ります。

取り付け

取り付けかた

お取り付けの前には必ずこの項をよくお読みいただき、手順に従って、正しく取り付けてください。
商品については、TOTO(株) お客様相談室 TEL ☎0120-03-1010 FAX ☎0120-09-1010にお問い合わせください。

※安全上の警告・注意及び使用上のご注意 (P2～5ページ) を必ずお守りください。

取り付け手順

●次の手順に従って、正しく取り付けてください。

同梱部品の確認	取り付け前のご注意	1 水道の元栓を閉める 作業を始める前に	2 便座を確認する 現在ご使用の	3-1 取り替える 普通・暖房便座から	3-2 取り替える 温水洗浄便座から	4 ベースプレートを取り付ける	5 ウォシュレットを取り付ける	6 給水ホースを接続する	7 アース線を接続する	8 電源プラグを確認する	9 リモコンを取り付ける
9ページ	10ページ	10ページ	11ページ	11ページ	15ページ	20ページ	22ページ	23ページ	24ページ	24ページ	24ページ

使用する主なもの



次の工具があれば便利です。

- ①ドライバー
- 電気ドリル
- ドリル歯φ6 (鉄工ドリルまたはコンクリートドリル)
- パイプカッター (内ねじタイプの止水栓の場合、フレキホースを使用せず、既設の給水管を切断するときに使用します。)
- ハンマー

同梱部品

●次の部品があるかどうか確認してください。

※ウォシュレット本体や給水ホースに付いている保護キャップは取付直前にはずしてください。(ゴミなどの侵入を防止します。)

ウォシュレット本体 保護キャップ	① リモコン部品 アンカープラグ (3個) リモコン リモコンハンガー ねじ (3個) リモコン用乾電池 (単3形×2個)	② 給水ホース 長さ: 約1m 保護キャップ パッキン 保護キャップ
③ ロータンク接続用フレキホース 長さ: 400mm ゴムパッキン フィルター ゴムパッキン パッキン	④ ベースプレート ※分解せずにこのままで便座に取り付けてください。 ボルト 座金 歯付座金 ゴムフッシュ 型紙	⑤ 分岐金具(スピンドル付) ※スピンドルは分岐金具にセットされています。 スピンドル 分岐金具 (パッキン付)
⑥ 分岐継手 ※内ねじタイプの止水栓のときのみ使用します。 パッキン 2枚 (1枚予備)	⑦ 便座はずし工具 	⑧ 専用スパナ 先端部 ①ドライバー付
⑨ 取扱説明書、使いかた説明シート、快適宅配便、アンケート用紙、フック、点字シール、保証書 		

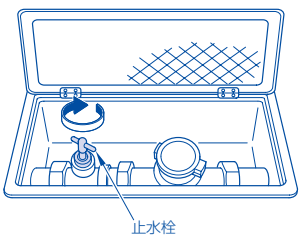
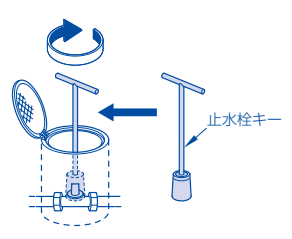
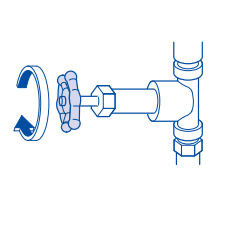
取り付け前のご注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットの取り付けができません。

- 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終わってから行ってください。
- 便器に取り付ける前に、本体にベースプレートをセットして通電しないでください。
温水タンクが空の状態ではヒータが入るため故障の原因になります。
- 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は417Wです。必ずこの電力に適した配線をしてください。
(ウォシュレット専用の配線をおすすめします。)
- 電源コードの長さは約1mです。コンセントの位置はウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。
- 給水圧力は0.05MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- 給水ホースの長さは約1mです。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。
もし給水ホースの長さが足りない場合は、23ページ「⑥給水ホースを接続する」の④項に長い給水ホースを記載していますので適切な長さのホースを選んでください。
お求めはTOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターTEL ☎ 0120-8282-55 FAX ☎ 0120-8272-99へご連絡ください。
- 内ねじタイプの止水栓の場合や温水洗浄便座(TOTO品)からの取り替えの場合、同梱のロータンク接続用フレキホースを使用します。もし、フレキホースの長さが合わない場合は、14、18、19ページ「ロータンク接続用フレキホース(同梱品⑤)」を取り付ける」に長さ違いのフレキホースを記載していますので適切な長さのフレキホースを選んでください。
お求めはTOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターTEL ☎ 0120-8282-55 FAX ☎ 0120-8272-99へご連絡ください。
※内ねじタイプの止水栓の場合は、フレキホースを使用せず既設の給水管を切断して使用することもできます。
14、19ページ
- フラッシュバルブ式便器への取り付けは、専門業者による取り付けが必要です。

1 作業を始める前に水道の元栓を閉める

元栓を閉めるときは、ガス給湯機や洗濯機などの使用を止めてください。

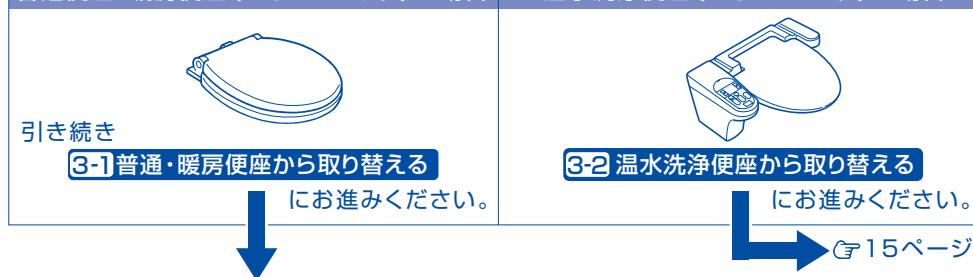
水道メーターと一体になった元栓の場合	埋込み式の元栓の場合	マンションなどの場合
メーターボックスの止水栓を閉める 	止水栓キーなどで閉める 	玄関入口横の扉の中などにあります。 

元栓を閉めた後に、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

2 現在ご使用の便座を確認する

普通便座・暖房便座(ウォームレット)の場合

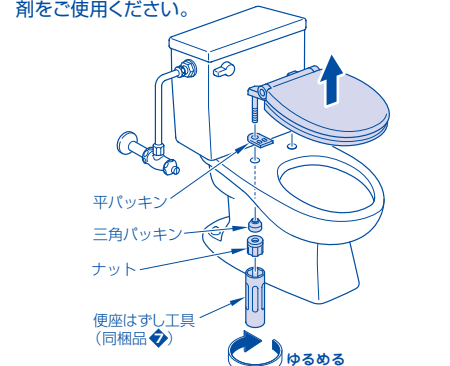
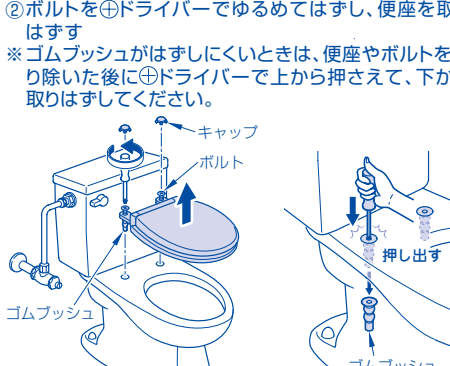
温水洗浄便座(ウォシュレット)の場合



3-1 普通・暖房便座から取り替える

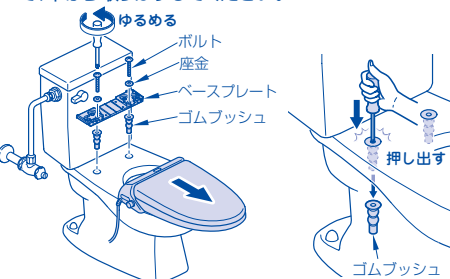
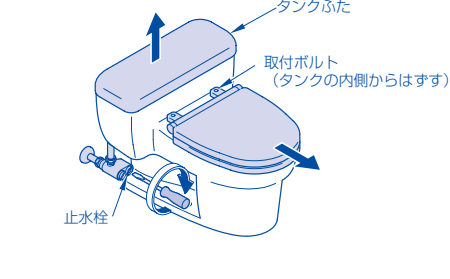
① 普通・暖房便座を取りはずす

※水道の元栓を閉め、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

ボルトナットで便座が取り付けられている場合	ゴムブッシュで便座が取り付けられている場合
※金属ナットがさびてゆるまなときは、市販のスプレー剤をご使用ください。  ゆるめる	① キャップをはずす ② ボルトを④ドライバーでゆるめてはずし、便座を取りはずす ※ゴムブッシュがはずしにくいときは、便座やボルトを取り除いた後に④ドライバーで上から押さえて、下から取りはずしてください。  押し出す

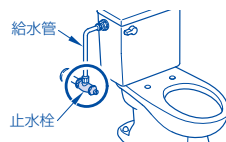
ベースプレートで便座が取り付けられている場合

ワンピース便器に便座が取り付けられている場合

① 本体を取りはずす ② ベースプレートのボルトを④ドライバーでゆるめて取りはずす ※ゴムブッシュがはずしにくいときは、ボルト・座金・ベースプレートを取り除いた後に④ドライバーで上から押さえて、下から取りはずしてください。  ゆるめる 押し出す	① 止水栓を閉める ② タンクふたをはずす ③ タンク内のナットをゆるめて便座を取りはずす  タンクふた 取付ボルト(タンクの内側からはずす) 止水栓
--	--

取り付けかた

②現在ご使用の 止水栓タイプを確認する



一般的な止水栓		内ねじタイプの止水栓		寒冷地の場合
【アングル形】	【ストレート形】	【アングル形】	【ストレート形】	
外径13mmの給水管 止水栓		外径13mmの給水管 止水栓	本体の内側にねじが切っているタイプ	
引き続き ③一般的な止水栓に 分岐金具を取り付ける にお進みください。		④内ねじタイプの止水栓に 分岐金具を取り付ける にお進みください。		専門業者による取り付けが必要です。 お近くの販売店またはTOTOメンテナ ンス(株) 修理受付センターTEL ☎ 0120-1010-05 FAX ☎ 0120- 1010-02にご依頼ください。

☞ 13ページ

③一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける

同梱品⑤の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

①既設止水栓の部品を取りはずす

①ロータンクの水を流す
(給水管内の圧抜きです。)
●ロータンクに給水されない
ことを確認してください。

※配管内の残水を洗面器
などで受ける

②キャップナット
をはずす

③スピンドルを回し
て取りはずす

※転居などのため取りはずした
部品の保管をおすすめします。

④分岐金具(同梱品⑤)を止水栓に取り付ける

①スピンドルを分岐金具から引っ張っ
てはずし、止水栓の奥までねじ込む

③分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回
転する構造になっています。

④分岐金具を取り付け
た後、止水栓は必ず
締め込む

※給水ホース
接続部は下
に向ける

②スピンドルに分岐金具(パッキン付)
を通して取り付ける

スパナ
(先端は○ドライバー付き)

取付完成図

回転構造

☞ 20ページ ④ベースプレートを取り付ける にお進みください。

④内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける

同梱品⑤の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

※トイレの止水栓を閉めることにより、ロータンクの給水を止めることもできます。

①ロータンクの水を抜く ②給水管を取りはずす

①止水栓をいっばい
に閉める

②ロータンクふたをはずす
●手洗い付きの場合は接続
ホースははずしてください。

③ロータンクの水を流す
(給水管内の圧抜きです。)
●ロータンクに給水されない
ことを確認してください。

注意
消音ブッシュがある場合は取り
付けたままにしてください。

①上下のナットをゆるめる

②給水管を取りはずす

※転居などのため取りはずした
部品の保管をおすすめします。

※配管内の残水を洗面器
などで受ける

③分岐継手(同梱品⑤)を止水栓に取り付ける

①分岐継手の袋ナットを
止水栓に締め付ける

②スピンドルごと分岐金具を分岐
継手に差し込む
※内ねじタイプの場合、スピンドルは回転
しますが、止水機能はありません。

③分岐金具の袋ナットを分岐継手に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回
転する構造になっています。

取付完成図

回転構造

※この部分を回しても
止水できません。

ワンピース便器の場合の取付完成図

【取付手順】
①止水栓を閉める
②ふさぎナット、ゴムパッキンをはずす(既設品)
③パッキンをセットして分岐継手を取り付ける
④分岐金具(スピンドル付)を分岐継手に取り付ける
⑤②のふさぎナット、ゴムパッキンを分岐継手に取り付ける
【確認】
⑥接続部から水漏れがないか確認する

分岐継手(同梱品⑤) 便器

ふさぎナット、ゴムパッキン
(既設の止水栓のもの
をはずして付け替える)

分岐金具(同梱品⑤)

※この部分を回しても
止水できません。

④ロータンク接続用フレキホース(同梱品⑤)を取り付ける

※フレキホースは接続の向きが決まっていますのでご注意ください。
(両端のナットの形状が違います。)

ゴムパッキン
(消音ブッシュがある場合は不要)

フィルター
(凸部がロータンク側になります。)

ボールタップ本体

①ロータンク(ボールタップ)側のナット(大)を締め付ける

ロータンク接続用フレキホース
(同梱品⑤)

※フレキホースを折り曲げたり、
つぶしたりしないでください。

②分岐継手側のナット(小)を締め付ける

ナット(小)

パッキン

分岐継手

止水栓

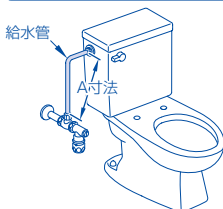
注意

- ボールタップ本体をしっかり持ってナット(大)を確実に締め付けてください。
- ボールタップ本体が傾いて取り付けられるとロータンクの止水不良の原因になります。
- ボールタップ本体が正常に動くことを確認してください。

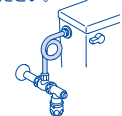
取付完成図

回転構造

※ロータンク接続用フレキホースの長さが合わないときは、下図のA寸法に合ったフレキホースを右表より選んでご購入ください。
(同梱品のフレキホースの長さは400mmです。)



※A寸法が150~200mmの場合は、450mmのフレキホースをループさせてご使用ください。



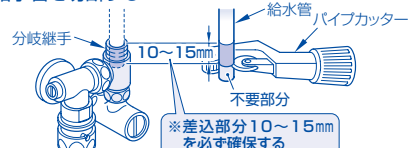
ロータンク接続用フレキホース長さ違い一覧表

A寸法(mm)	フレキホース長さ(mm)	品番	希望小売価格
120~150	200	TCA61-2R	¥1,450 (税込¥1,523)
200~250	300	TCA61-3R	¥1,550 (税込¥1,628)
250~300	350	TCA61N	¥1,600 (税込¥1,680)
300~400	450	TCA61-1N	¥1,700 (税込¥1,785)

●品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

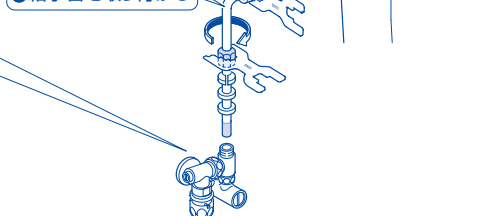
ロータンク接続用フレキホースを使用せずに取りはずした給水管を切断して使用することもできます。

①給水管を切断する



- 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。
- 切断後は切粉を取り除いてください。

②給水管を取り付ける



②0ページ ④ベースプレートを取り付けるにお進みください。

3-2 温水洗浄便座から取り替える

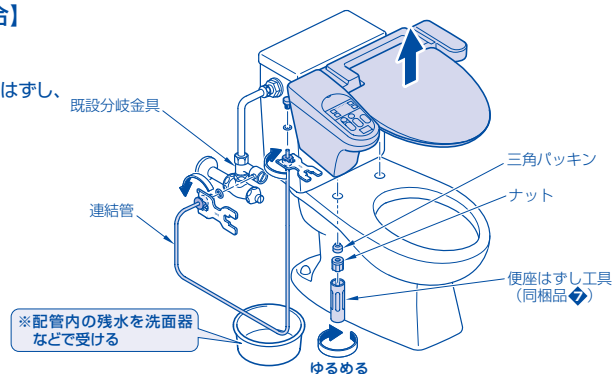
①温水洗浄便座を取りはずす

※水道の元栓を閉め、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

TOTOウォシュレット(代表例を示す)

【ボルトナットで取り付けしている場合】

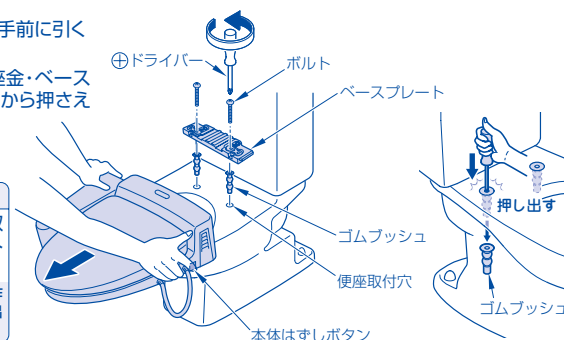
- ①電源プラグをコンセントから引き抜く
- ②連結管のナットをゆるめ、取りはずす
- ③便座はずし工具(同梱品⑦)でナットをはずし、ウォシュレットを取りはずす



※配管内の残水を洗面器などで受ける

【ベースプレートで取り付けしている場合】

- ①右側の本体ははずしボタンを押したまま本体を手前に引く
 - ②ベースプレートのボルトをゆるめてはずす
- ※ゴムブッシュがはずしにくいときは、ボルト・座金・ベースプレートを取り除いた後に④ドライバーで上から押さえて、下からはずしてください。



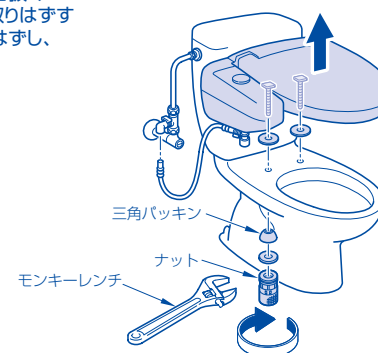
注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。

※既設(旧型)のベースプレートではウォシュレットが作動しません。(新型のベースプレートは本体着脱検出用のスイッチを内蔵しています。)

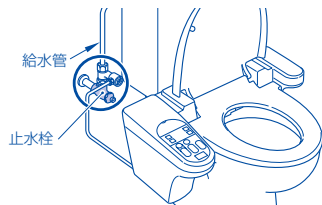
TOTOウォシュレット以外(代表例を示す)

- ①電源プラグをコンセントから引き抜く
- ②給水ホースのナットをゆるめ、取りはずす
- ③モンキーレンチなどでナットをはずし、温水洗浄便座を取りはずす



取り付けかた

②現在ご使用の 止水栓タイプを確認する



一般的な止水栓		内ねじタイプの止水栓
【TOTO品】 ※製品の違いやメーカーの違いによって、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。 TOTO品は、引き続き ④一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。	【他社品】 ※このタイプの止水栓及び分岐金具の場合、既設給水管は取りはずさずそのまま使用できます。 他社品は ③①普通・暖房便座から取り替える ④一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。	【他社品】 ※製品の違いやメーカーの違いによって、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。 ④内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。

③一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける

同梱品⑤の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

①ロータンの水を抜く	②既設分岐金具と給水管を取りはずす
①止水栓をいっばいに閉める ②ロータンの水を抜く ●手洗い付きの場合は接続ホースをはずしてください。 ③ロータンの水を流す (給水管内の圧抜きです。) ●ロータンに給水されないことを確認してください。 スパナ (先端は○ドライバー付き)	注意 ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。 ①上下のナットをゆるめる ※転居などのため取りはずした部品の保管をおすすめします。 ②給水管を取りはずす ※配管内の残水を洗面器などで受ける ③既設分岐金具を取りはずす 消音ブッシュ ボールタップ本体 注意 消音ブッシュがある場合は取り付けたまにしてください。

③既設止水栓の部品を取りはずす

※配管内の残水を洗面器などで受ける

1 キャップナットをはずす

2 スピンドルを回して取りはずす

※転居などのため取りはずした部品の保管をおすすめします。

④分岐金具(同梱品⑤)を止水栓に取り付ける

1 スピンドルを分岐金具から引っ張ってはずし、止水栓の奥までねじ込む
回してねじ込む

2 スピンドルに分岐金具(パッキン付)を通して取り付ける

3 分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。

4 分岐金具を取り付けた後、止水栓は必ず締め込む

※給水ホース接続部は下に向ける

スパナ
(先端は○ドライバー付き)

⑤ロータンク接続用フレキホース(同梱品⑤)を取り付ける

※フレキホースは接続の向きが決まっていますのでご注意ください。
(両端のナットの形状が違います。)

ゴムパッキン
(消音ブッシュがある場合は不要)

フィルター
(凸部がロータンク側になります。)

ボールタップ本体

1 ロータンク(ボールタップ)側のナット(大)を締め付ける

ロータンク接続用フレキホース(同梱品⑤)
※フレキホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。

2 止水栓側のナット(小)を締め付ける

ナット(大)

ナット(小)

パッキン

止水栓

分岐金具

注意

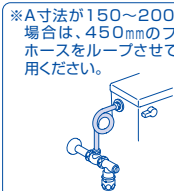
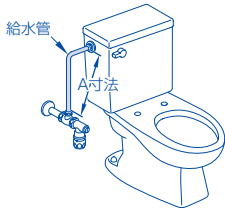
- ボールタップ本体をしっかり持ってナット(大)を確実に締め付けてください。
- ボールタップ本体が傾いて取り付けられるとロータンクの止水不良の原因になります。
- ボールタップ本体が正常に動くことを確認してください。

取付完成図

回転構造

取り付けかた

※ロータンク接続用フレキホースの長さが合わないときは、下図のA寸法に合ったフレキホースを右表より選んでご購入ください。
(同梱品のフレキホースの長さは400mmです。)



A寸法 (mm)	フレキホース長さ (mm)	品番	希望小売価格
120~150	200	TCA61-2R	¥1,450 (税込¥1,523)
200~250	300	TCA61-3R	¥1,550 (税込¥1,628)
250~300	350	TCA61N	¥1,600 (税込¥1,680)
300~400	450	TCA61-1N	¥1,700 (税込¥1,785)

●品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

☞20ページ **④ ベースプレートを取り付ける** にお進みください。

④内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける

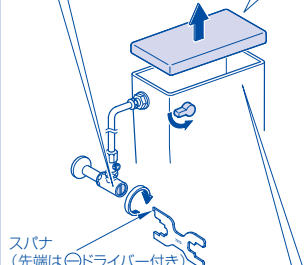
同梱品⑤の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

※トイレの止水栓を閉めることにより、ロータンクの給水を止めることもできます。

①ロータンクの水を抜く

①止水栓をいっばいに閉める

②ロータンクふたをはずす
●手洗い付きの場合は接続ホースをはずしてください。



③ロータンクの水を流す
(給水管内の圧抜きです。)
●ロータンクに給水されないことを確認してください。

②既設分岐金具と給水管を取りはずす

注意

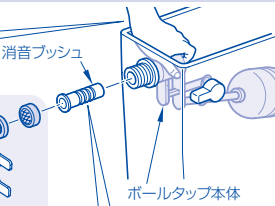
ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。

①上下のナットをゆるめる

※転居などのため取りはずした部品の保管をおすすめします。

②給水管を取りはずす

※配管内の残水を洗面器などで受ける



注意

消音プッシュがある場合は取り付けたまにしてください。

③既設分岐金具を取りはずす

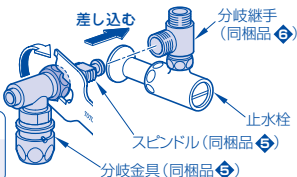
③分岐継手 (同梱品⑤) を止水栓に取り付ける

①分岐継手の袋ナットを止水栓に締め付ける



②スピンドルごと分岐金具を分岐継手に差し込む
※内ねじタイプの場合、スピンドルは回転しますが、止水機能はありません。

③分岐金具の袋ナットを分岐継手に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。



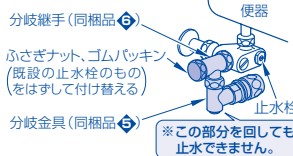
ワンピース便器の場合の取付完成図

【取付手順】

- ①止水栓を閉める
- ②ふさぎナット、ゴムパッキンをはずす (既設品)
- ③パッキンをセットして分岐継手を取り付ける
- ④分岐金具 (スピンドル付) を分岐継手に取り付ける
- ⑤②のふさぎナット、ゴムパッキンを分岐継手に取り付ける

【確認】

- ⑥接続部から水漏れがないか確認する



取付完成図



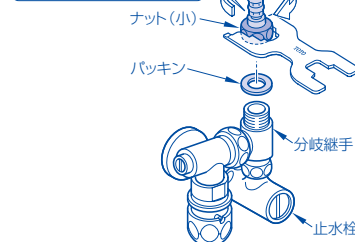
④ロータンク接続用フレキホース (同梱品⑤) を取り付ける

※フレキホースには接続の向きが決まっていますのでご注意ください。
(両端のナットの形状が違います。)

①ロータンク (ボールタップ) 側のナット (大) を締め付ける

ロータンク接続用フレキホース (同梱品⑤)
※フレキホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。

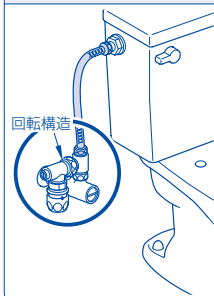
②分岐継手側のナット (小) を締め付ける



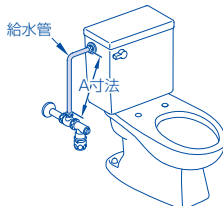
注意

- ボールタップ本体をしっかり持ってナット (大) を確実に締め付けてください。
- ボールタップ本体が傾いて取り付けられるとロータンクの止水不良の原因になります。
- ボールタップ本体が正常に動くことを確認してください。

取付完成図



※ロータンク接続用フレキホースの長さが合わないときは、下図のA寸法に合ったフレキホースを右表より選んでご購入ください。
(同梱品のフレキホースの長さは400mmです。)



※A寸法が150~200mmの場合は、450mmのフレキホースをループさせてご使用ください。

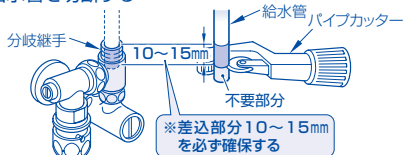
ロータンク接続用フレキホース長さ違い一覧表

A寸法 (mm)	フレキホース長さ (mm)	品番	希望小売価格
120~150	200	TCA61-2R	¥1,450 (税込¥1,523)
200~250	300	TCA61-3R	¥1,550 (税込¥1,628)
250~300	350	TCA61N	¥1,600 (税込¥1,680)
300~400	450	TCA61-1N	¥1,700 (税込¥1,785)

●品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

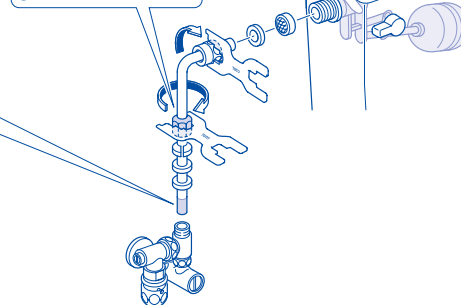
ロータンク接続用フレキホースを使用せずに取りはずした給水管を切断して使用することもできます。

①給水管を切断する



- 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。
- 切断後は切粉を取り除いてください。

②給水管を取り付ける



☞20ページ **④ ベースプレートを取り付ける** にお進みください。

4 ベースプレートを取り付ける

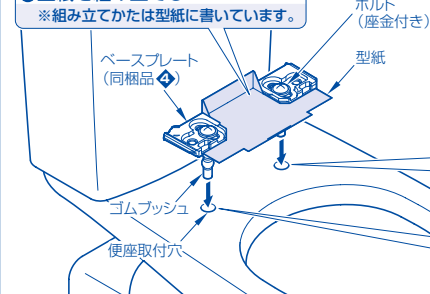
1 取付準備

① ベースプレート（同梱品④）をセットする

ベースプレートに付いている型紙はウォシュレットの取付位置を決めるためのものです。この型紙を用いて正しくセットしてください。

① 型紙を組み立てる

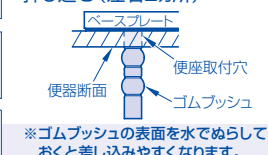
※組み立てかたは型紙に書いています。



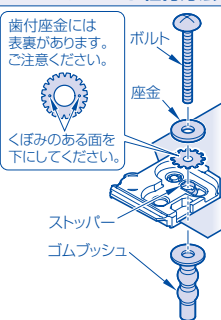
注意

ベースプレートを分解しないでください。
万一分解された場合は右図の順番で組み付けを行ってください。

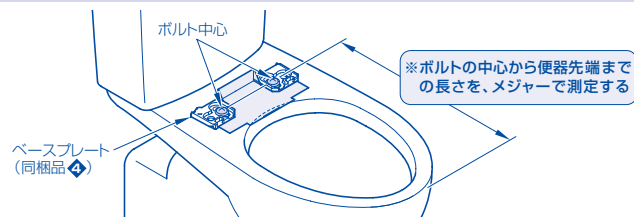
② ゴムブッシュを便座取付穴に押し込む（左右2カ所）



ベースプレート組付方法



② 便器のサイズを調べる



約47cm:大形サイズの便器です。

約44cm:普通サイズの便器です。

引き続き
②大形サイズ便器の場合の
ベースプレート位置
にお進みください。

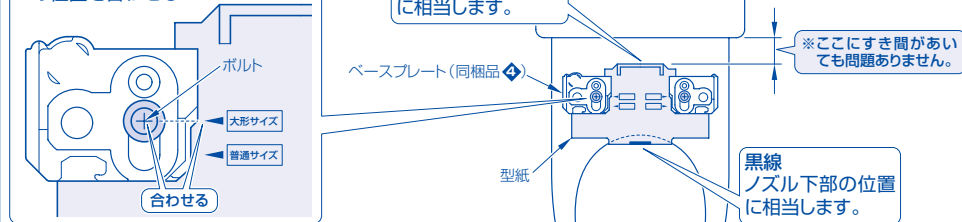
③普通サイズ便器の場合の
ベースプレート位置
にお進みください。

②21ページ

②大形サイズ便器の場合のベースプレート位置

ベースプレートの位置を決める

① ボルトの中心と型紙の「大形サイズ」の位置を合わせる

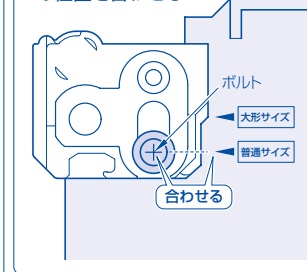


②21ページ④ベースプレートを固定するにお進みください。

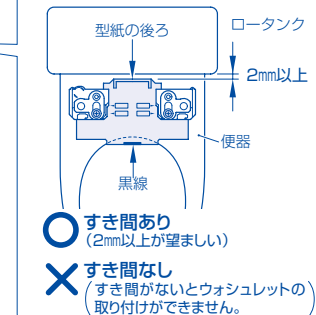
③普通サイズ便器の場合のベースプレート位置

ベースプレートの位置を決める

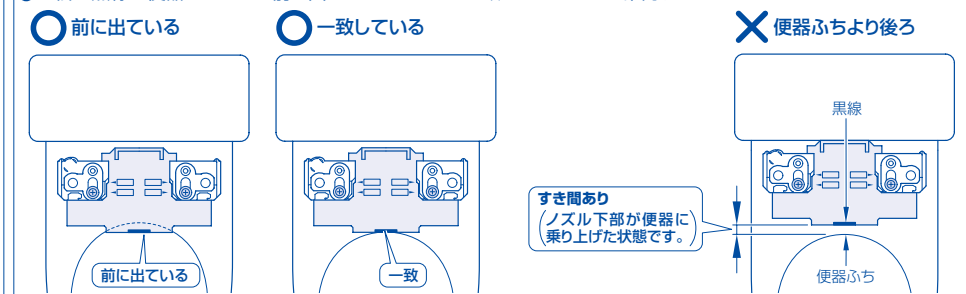
① ボルトの中心と型紙の「普通サイズ」の位置を合わせる



② ロータンクと型紙の後ろにすき間があることを確認する

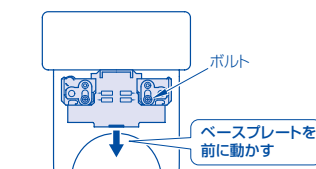


③ 型紙の黒線が便器のふちより前に出ているか、または一致していることを確認する



②③の条件が×の場合

片方でも×の場合は右図のようにベースプレートを動かして②、③の条件が両方○になるようにしてください。



④ベースプレートを固定する

① ベースプレートを固定する



② 型紙をはずす



取り付けかた

5 ウォシュレットを取り付ける

ウォシュレットの取り付けかた

①ウォシュレット本体の中心と、ベースプレートの中心を合わせ「カチッ」と音がするまで押し込む

②まっすぐ取り付いているか確認する

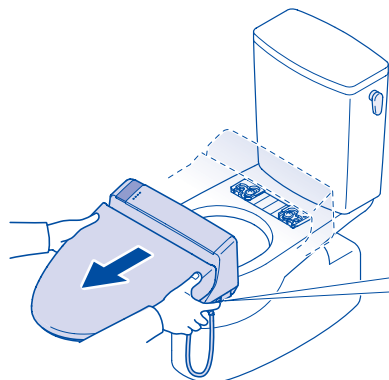
③本体を軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認する

注意

正しく取り付けなかった場合は、本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。

☞20ページ ①取付準備にお戻りください。

ウォシュレットの取りはずしかた



本体右側の本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を押したまま、本体を手前に引いてください。

本体はずしボタン（及び水抜きレバー）

※ 本体を便器にセットしたときに、上下左右に多少ガタつきが発生します。これは本体ワンタッチ着脱のために、スライド部に設けられたすき間のためです。異常ではありません。

※ 普通サイズ便器に設置した場合、便座の先端が便器より多少出っ張ったり便器のふちが見えることがあります。異常ではありません。

※ 便ふたを立てた状態で便ふたが倒れてくるときは、本体をはずしてもう一度ベースプレートを少し前に取り付け直して、便ふたが倒れなくなるまで調整してください。

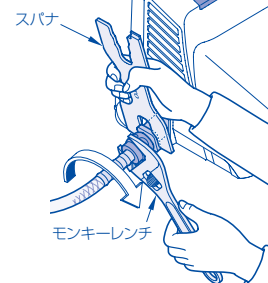
※ 大形サイズ便器に設置した場合でも、取付便器によっては便器先端が多少出っ張ることがあります。出っ張りが大きいときは、もう一度ベースプレートの位置を調整してください。

6 給水ホースを接続する

給水ホースの取り付けかた

●ウォシュレットをベースプレートから取りはずした状態で接続すると作業しやすくなります。

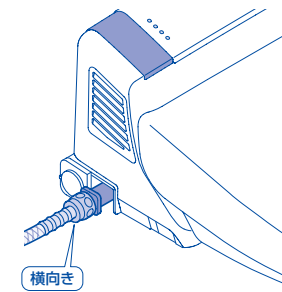
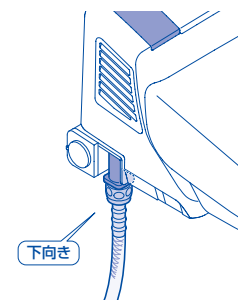
①ウォシュレット本体の給水口に給水ホース（同梱品②）の袋ナットを締め付ける



注意

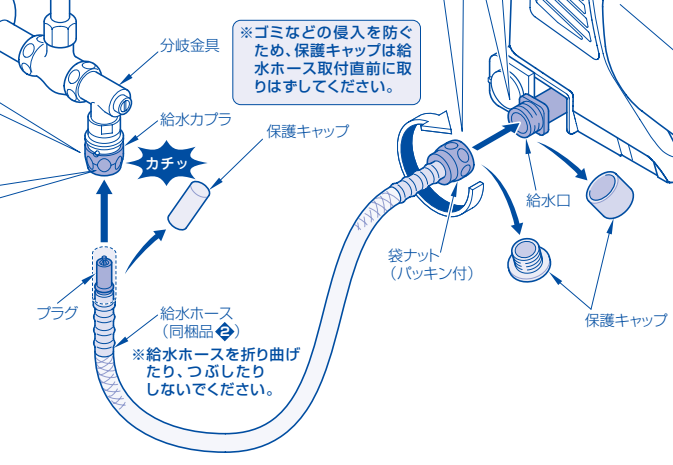
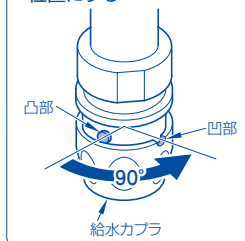
給水口をスパナで固定して給水ホースを接続してください。
無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。

ウォシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。
ワンピース便器の場合は給水口を横向きにしてください。



②給水ホースのプラグ側を分岐金具の給水カブラに差し込む
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

③給水カブラを手で回して、凹部と凸部が90°ずれた位置にする



④給水ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体が着脱できる長さがあるか確認する

※給水ホースの長さが足りないときは、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。（同梱品の給水ホースの長さは約1mです。）
お求めはTOTOメンテナンス（株）TOTOパーセンタール TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99へご連絡ください。
※給水ホースをはずすときは必ず止水栓を開めてください。

給水ホース長さ違い一覧表

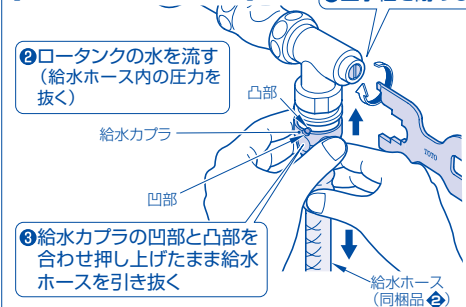
給水ホース長さ (mm)	品番	希望小売価格
1180	D24009ZNt5	¥2,000 (税込¥2,100)
1480	D24009ZNt6	¥2,300 (税込¥2,415)
1980	D24009ZNt7	¥2,800 (税込¥2,940)

●品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

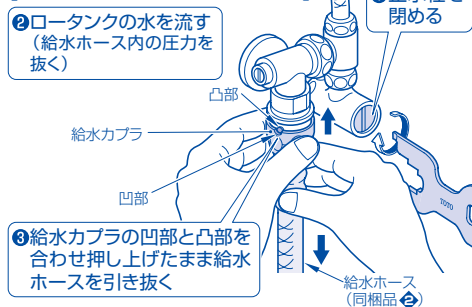
給水ホースのはずしかた

※ 施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは次の手順で行ってください。

【一般的な止水栓の場合】

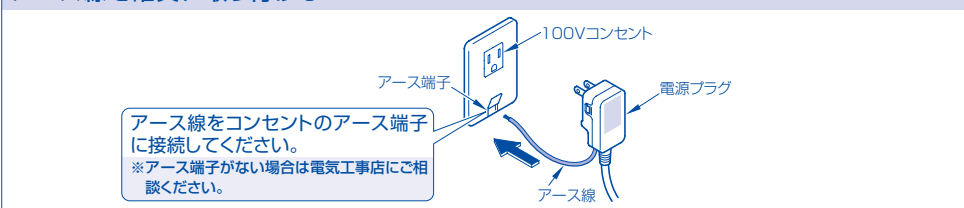


【内ねじタイプの止水栓の場合】



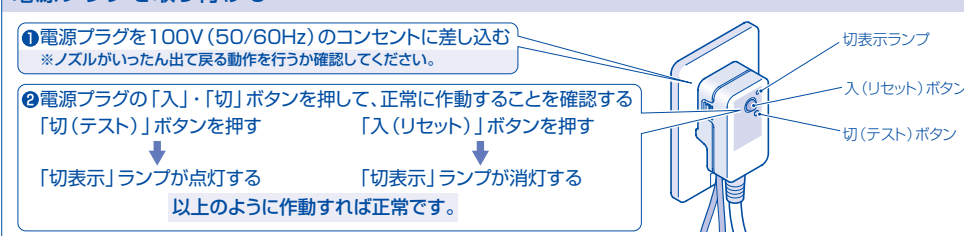
7 アース線を接続する

アース線を確実に取り付ける



8 電源プラグを確認する

電源プラグを取り付ける



9 リモコンを取り付ける

オプションの紹介

リモコン取付プレート (TCA37-1) 希望小売価格 ¥1,750 (税込¥1,838)

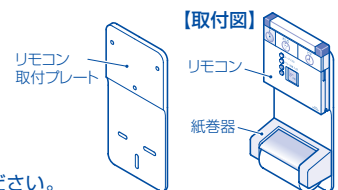
●品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

現在ご使用中の紙巻器の取付穴を利用して、リモコンをセットできる取付プレートです。

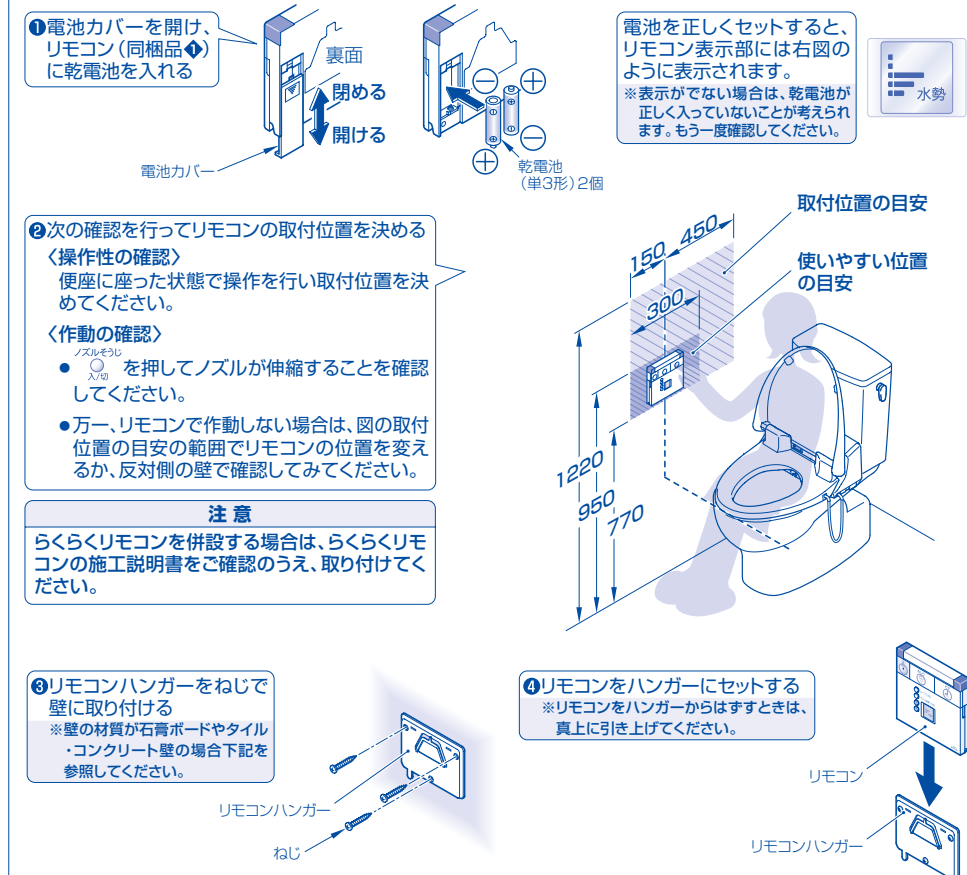
新しくねじ穴を開ける必要がないので壁面をいためず、引っ越しのときも安心です。

お求めはTOTOメンテナス (株) TOTOパーツセンター

TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99へご連絡ください。

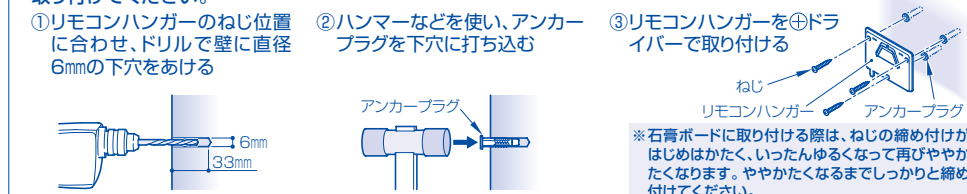


リモコンを取り付ける



【石膏ボードやタイル・コンクリート壁への取り付け】

壁の材質が石膏ボードやタイル・コンクリート壁の場合は、付属のアンカープラグを使ってリモコンハンガーを取り付けてください。



【乾電池について】乾電池の破裂や液漏れを防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 取り替えは、新しい同種のものを使用する
 - 長期間使用しないときは、取り出しておく
 - 充電式の電池は使用しない
- 電池交換を行うと、温度、タイマー節電などの設定が解除される場合があります。
- (例・・・タイマー節電を「入」にしているも「切」になる) もう一度設定をやり直してください。

取り付けが終わったら、26ページご使用前の確認を必ず行ってください。

ご使用前の確認

ウォシュレットを取り付け後、はじめてお使いになるときは、次の確認を行ってください。

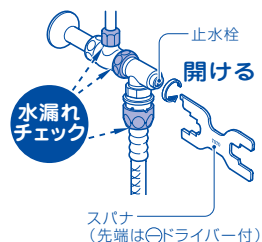
準備

1 水漏れの点検

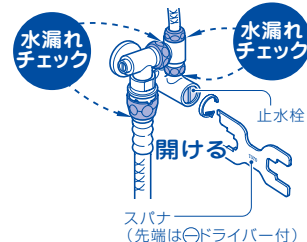
※ 万一水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

- ① 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
- ② 水道の元栓を開く
- ③ 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する

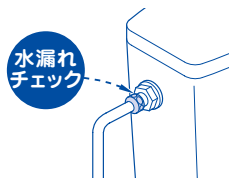
【一般的な止水栓の場合】



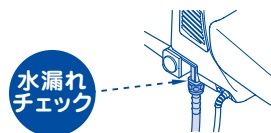
【内ねじタイプの止水栓の場合】



【ロータンク】



- ④ ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する



2 「本体表示部」の確認

本体表示部の「運転」「温水」「便座」ランプは点灯していますか？

↓
「運転」ランプが点灯していないと全機能が使用できません。
本体操作部の  を押してください。
(ランプが点灯します。)

アドバイス 

便座・温水の「入」「切」や温度調節は、 29ページ「温度調節のしかた」をご覧ください。

【本体表示部】



【本体操作部】



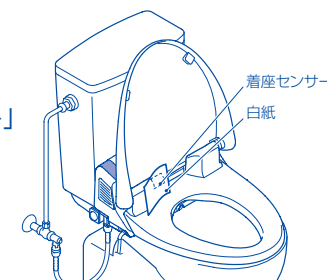
試運転

試運転時に、次のような状態になった場合は、 45ページ「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

- 動かない  45ページ「全機能」
- 水が出ない  45ページ「全機能」「おしり洗浄・ビデ洗浄」

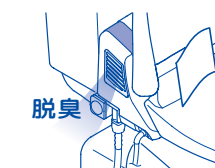
1 着座センサーを白紙でおおう

白紙でおおうと着座センサーが検知します。
(便座を閉めないで、着座センサーははたらきません。)
着座センサーについて  28ページ



2 脱臭機能を確認する

本体左側面の吹出口より風が出ていますか？



3 洗浄機能を確認する

-  を押すとノズルから適温の温水が出ますか？
- 温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。
- 水勢調節   を押すと水勢が変化しますか？
-  を押すと止まりますか？

洗浄時ノズルの根元からも水が出ますが、これは機能上必要なもので異常ではありません。



4 暖房便座機能を確認する

便座があたたまるまで約15分かかります。

5 着座センサーを白紙で30秒以上おおった後、白紙をはずす

6 オートパワー脱臭及びパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか？
-  パワー脱臭入/切 を押すと通常の音に戻りますか？
- もう一度  パワー脱臭入/切 を押すと脱臭音が大きくなりますか？
- 白紙をはずしてから約1分後に自動で止まりますか？

7 止水栓を閉めた後、給水フィルターに付いているゴミを水洗いして取りのぞく

アドバイス 

施工時に発生したゴミが給水フィルターに詰まると、おしり・ビデ洗浄時に水勢が弱くなります。
取り付け後は必ず給水フィルターの掃除を行ってください。
詳しくは  41ページ「給水フィルターのお手入れ」をご覧ください。

標準的な使いかた

1 便座に座る

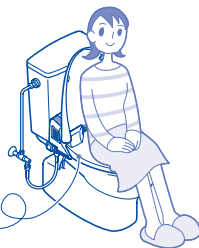
着座センサーがはたらき、各機能が使えるようになります。

脱臭が始まります。

アドバイス

便座には深く腰掛けましょう！
洗浄の位置が合いやすく、水の飛び散りが少なくなります。

脱臭開始



2 洗う

止スイッチ

おしり洗浄、ビデ洗浄を止めます。

おしり洗浄スイッチ

おしりを洗います。

ビデ洗浄スイッチ

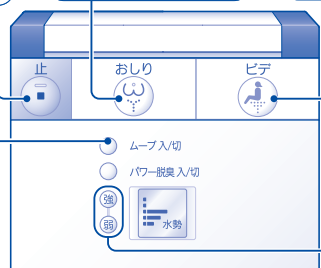
ビデとして使えます。

快適洗浄

ムーブ洗浄スイッチ

ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。

- 1 おしり/ビデ 使用するスイッチを押す
- 2 ムーブ入/切を押す
▶▶ ムーブ洗浄をします。
- 3 もう一度 ムーブ入/切を押す
▶▶ ムーブ洗浄をやめます。



水勢調節スイッチ

お好みの水勢を5段階で調節できます。

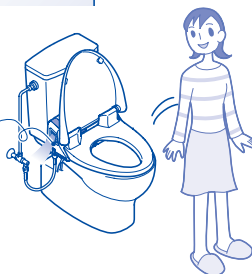
3 便座から立ち上がる

- オートパワー脱臭が始まります。
約1分後に止まります。

アドバイス

洗浄スイッチを押したとき、または30秒以上座ったときに
オートパワー脱臭を開始します。

オートパワー
脱臭開始
↓
約1分後
自動で止まる



着座センサーについて

- 着座センサーは人が座ったことを検知するものです。
- 着座センサーからは図のように赤外線が出ています。
- 使用状態によっては着座センサーがはたらきにくくなる場合があります。(P.47ページ)



リモコンの電池が切れたときなど

- 本体操作部の「おしり」または「ビデ」を押して洗ってください。



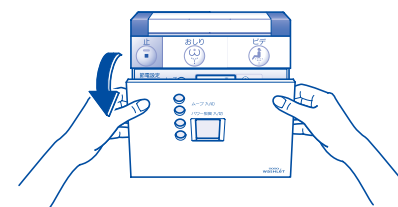
知っておいて いただきたいこと

- 洗浄時、ノズルの根元から水が出ますが機能上必要なもので異常ではありません。
※洗浄中でないときに連続して水が出るときは、故障と考えられます。止水栓を閉めた後、販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターTEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02へご連絡ください。
- ノズルの付近からときどき水が出ますが、これは温水タンク内の水が膨張して出てくるもので異常ではありません。
- ウォシュレットは、水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)を直接使用しています。
(ロータンクの水を使用することはありません。)

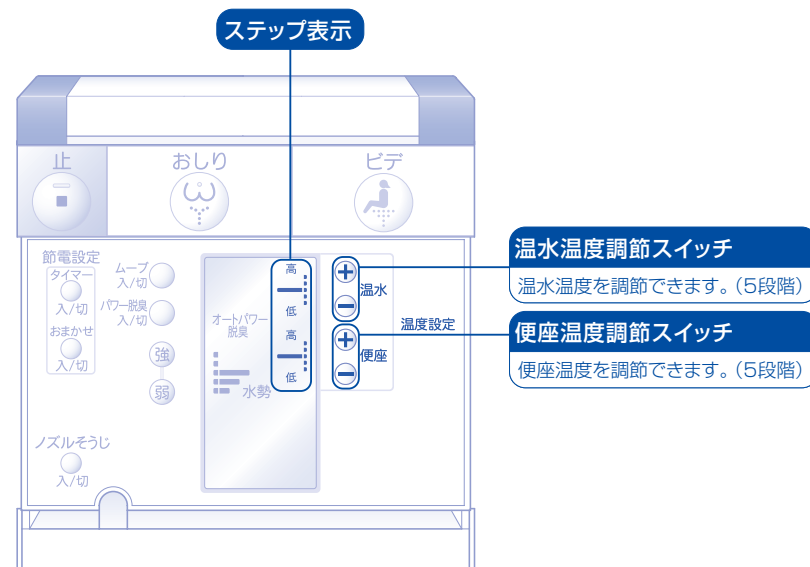
温度調節のしかた

温水、便座の温度はリモコンで調節できます。お好みの温度でご使用ください。

1 リモコンのカバーを開ける



2 + - で適温に調節する



温水温度調節スイッチ

温水温度を調節できます。(5段階)

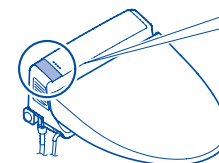
便座温度調節スイッチ

便座温度を調節できます。(5段階)

温水、便座の温度が「入」になると、「温水」「便座」ランプが点灯します。

便座、温水の温度を「切」にする場合は、ステップ表示が消えるまで「-」を押してください。

本体表示部



標準的な使いかた／温度調節のしかた

脱臭のしかた

脱臭には標準の脱臭・パワー脱臭・オートパワー脱臭の3通りがあります。

標準の脱臭・オートパワー脱臭の使いかた

便座に座ると標準の脱臭がはたらきます。
便座から立ち上がるとオートパワー脱臭がはたらいて、便器内のおいを取ります。

リモコンのカバーを開けて、リモコン表示部に「オートパワー脱臭」が表示されていることを確認してください。

check!

表示確認

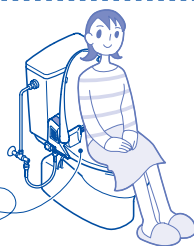
1 便座に座る

標準の脱臭を始めます。

アドバイス

はじめは、標準の脱臭は「入」に設定されています。

標準の
脱臭開始



2 便座から立ち上がる

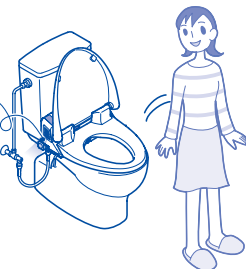
オートパワー脱臭を始めます。

約1分後に自動で止まります。

アドバイス

- はじめは、オートパワー脱臭は「入」に設定されています。
- 洗浄スイッチを押したとき、または30秒以上座ったときにオートパワー脱臭を開始します。

オートパワー
脱臭開始
↓
約1分後
自動で止まる



パワー脱臭の使いかた

便座に座って、においが気になるときに、吸い込む力をアップさせて便器内のおいを取ります。

リモコンの○ パワー脱臭入/切 を押す

↓
パワー脱臭を始めます。

アドバイス

パワー脱臭は便座に座らないとはたらきません。
いったん便座に座れば、立ち上がった後も約1分間はスイッチを受け付けます。



【パワー脱臭をやめるとき】

もう一度○ パワー脱臭入/切 を押す



標準の脱臭に戻ります。

アドバイス

○ パワー脱臭入/切 を切らずに立ち上がった場合は、約1分後に止まります。

標準の脱臭を使わないとき

※標準の脱臭を「切」にすると
オートパワー脱臭も「切」になります。

1 リモコンの 止 を10秒以上押す

リモコン表示部がすべて点滅します。

2 ○ パワー脱臭入/切 を押す

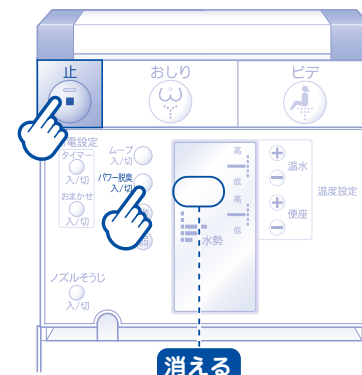
アドバイス

本体がリモコンの信号を受け付けると「ビッピ」という電子音が鳴ります。

3 もう一度 止 を押す

↓
標準の脱臭・オートパワー脱臭をやめます。

- リモコン表示部の「オートパワー脱臭」が消えます。
- パワー脱臭のみ使えます。
- 再び使うときは、同じ操作を行ってください。



消える

脱臭のしかた

オートパワー脱臭を使わないとき

1 リモコンの 止 を10秒以上押す

リモコン表示部がすべて点滅します。

2 便座温度 ー を押す

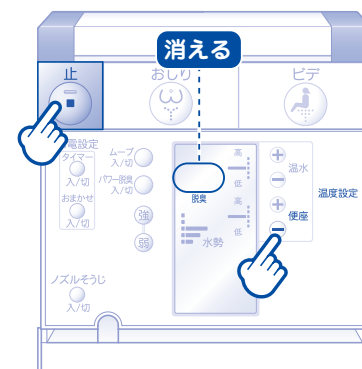
アドバイス

本体がリモコンの信号を受け付けると「ピッ」という電子音が鳴ります。

3 もう一度 止 を押す

↓
オートパワー脱臭をやめます。

- リモコン表示部の「オートパワー」が消えます。「脱臭」のみの表示になります。
- 脱臭、パワー脱臭は使えます。
- 再び使うときは、同じ操作を行ってください。



消える

節電のしかた

節電機能には**タイマー節電**・**おまかせ節電**の2通りがあります。

タイマー節電とは・・・

一度設定すると、毎日その時間に自動で節電します。タイマー節電中は温水と便座のヒータが切れます。

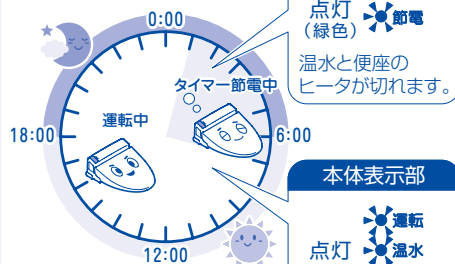
節電時間は3・6・9時間のいずれかに設定できます。

例) 午前1時から7時まで(6時間) 節電をする場合

・午前1時にリモコンのスイッチを押します。



・タイマー節電がはたらきます。



本体表示部

- 運転
- 温水
- 便座

点灯 (緑色) 節電
温水と便座のヒータが切れます。

本体表示部

- 運転
- 温水
- 便座
- 節電

通常の設定温度で運転します。

おまかせ節電とは・・・

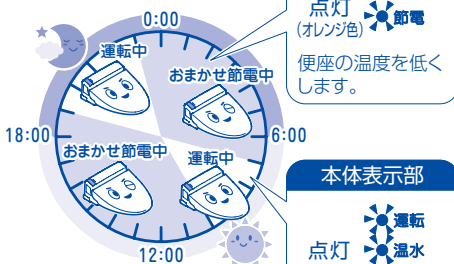
トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動で便座の温度を下げて節電します。

おまかせ節電をする場合

・リモコンのスイッチを押します。



・自動で便座の温度を下げて、節電します。



本体表示部

- 運転
- 温水
- 便座

点灯 (オレンジ色) 節電
便座の温度を低くします。

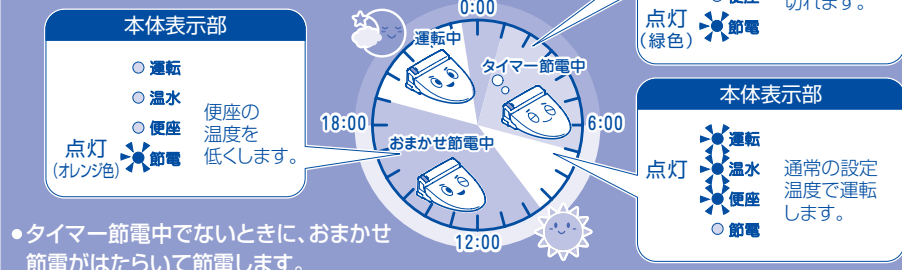
本体表示部

- 運転
- 温水
- 便座
- 節電

通常の設定温度で運転します。

タイマー節電とおまかせ節電を同時に使うことができます

両方を使ったとき、例えばこのように節電します。



・タイマー節電中でないときに、おまかせ節電がはたらいて節電します。

タイマー節電のしかた

一度設定すると、毎日その時間に自動で節電します。

例) 午前1時から7時まで(6時間) 節電をする場合

1 節電を開始したい時刻(午前1時)になったらリモコンのタイマー入/切を押す

↓
節電を始めます。

リモコン表示部に「タイマー節電3」が表示されます。

2 タイマー入/切を押して、6時間に設定する

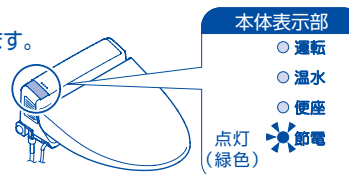
タイマー節電中は本体表示部の「節電」ランプ(緑色)が点灯します。

アドバイス

- ・タイマー節電中でも使えます。
- ・タイマー節電中でも便座に座れば、一時的に温水と便座のヒータが入ります。
- ・温水になるまで約10分かかります。
- ・便座があたたまると約15分かかります。



表示する

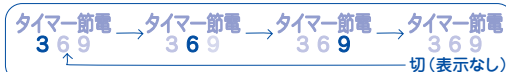


節電時間の変更

3・6・9時間のいずれかに設定を変更できます。

タイマー入/切を押す

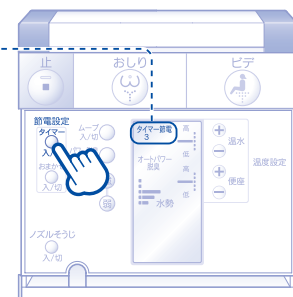
設定したい時間をお選びください。スイッチを押すごとに、表示が変わります。



※節電時間(3・6・9時間)を変更したいときは、節電を開始する時刻にもう一度設定してください。

アドバイス

節電開始時刻を変更したいときは、いったんタイマー節電をやめてから、開始したい時刻にもう一度タイマー入/切を押してください。



節電のしかた

タイマー節電をやめるとき

「タイマー節電」と「時間」の表示が消えるまでタイマー入/切を繰り返し押す

↓
節電をやめます。

本体表示部の「運転」「温水」「便座」ランプが点灯します。



消える



おまかせ節電のしかた

トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動で便座の温度を下げて節電します。

リモコンの を押す

リモコン表示部に「おまかせ節電」が表示されます。



自動で便座の温度を下げて、節電を始めます。

アドバイス

- トイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで、2～3日かかります。その間は徐々に節電をしていきます。
- おまかせ節電中でも使えます。おまかせ節電中の便座温度は約26℃に設定していますが、便座に座ると一時的にあたたかくなります。

あまり使用しない時間帯になると本体表示部の「節電」ランプ(オレンジ色)が点灯します。



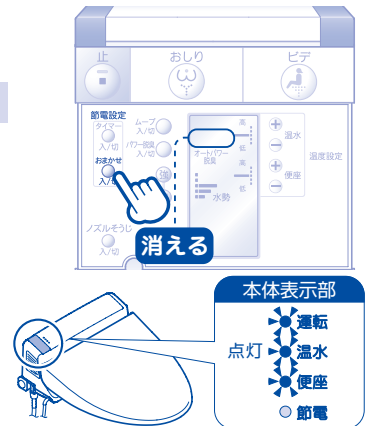
おまかせ節電をやめるとき

リモコンの を押す



おまかせ節電をやめます。

- リモコン表示部の「おまかせ節電」が消えます。
- 本体表示部の「運転」「温水」「便座」ランプが点灯します。



タイマー節電とおまかせ節電の両方を使うとき

スイッチを押す順番はどちらが先でもかまいません。

1 タイマー節電を開始したい時刻に、リモコンの を押す

タイマー節電のしかたは  33ページ

2 おまかせ を押す

おまかせ節電のしかたは  34ページ

お手入れ

お手入れの前に

ピカピカの便器や水栓で、イメージアップ

いっしょうけんめい掃除しても、使った人から「まあ、キレイ」と思ってもらえなければ満足度も今ひとつ。掃除効果を高めるためには、便器や水栓をピカピカにしておく、それだけで印象がワンランクアップします。

掃除をラクにするコツ

ドアを開けたとき、キレイなトイレだととてもさわやかな気分になります。朝、顔を洗うとき、ピカピカの洗面所だと「今日もがんばるぞ!」と元気が出てきます。特別なことをしなくても、トイレや洗面所をキレイにしておくのは簡単です。最短の時間で、最大限の効果をあげるコツがあるのです。

汚れをためない、そのままにしない

汚れてから掃除するより、「汚れになる前の掃除」を大切に。とくにトイレでは、便器や便座の汚れ、タンクの表面の結露や床にこぼれた小水などは、気が付いたらサッとふき取る習慣をつけましょう。

家族みんなで掃除、を習慣に

トイレや洗面所のキレイを保つコツは、家族の協力も得て、気づいた人がその場で掃除をすることがポイントです。洗剤は必要ありません。これだけで汚れのつきかたがちがいます。

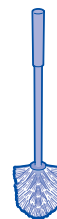
ご注意ください!

掃除方法も使いかたを間違えると傷をつけてしまいます。下記の道具・洗剤は使用しないでください。



本体、便座、便ふた	シンナー、ベンジン、クレンザー、ナイロンたわし、かわいた布、トイレペーパー
大便器	強酸性・強アルカリ性・研磨剤入りの洗剤、金属ブラシ、研磨入りナイロンたわし
水栓	たわし、ナイロンたわし、クレンザー、みがき粉、粗い粒子を含む洗剤、シンナー、ベンジン、塩素系洗剤、強アルカリ性薬品

日常のお手入れなら道具はこれ(基本道具)



トイレ用ブラシ



やわらかい布



台所洗剤(中性)



ウォシュレットクリーナー



節電のしかた

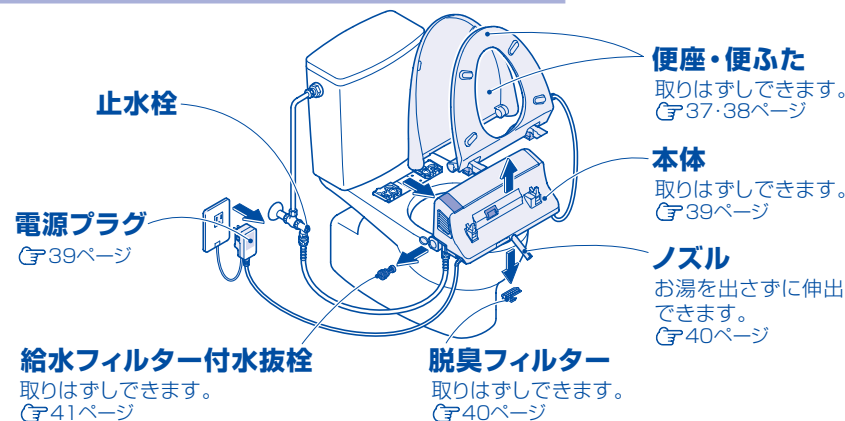


お手入れの前に

各部分を取りはずして、すみずみまでお手入れできます。

ご注意ください!

お手入れのときには必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※「ノズルそうじスイッチ」機能を使用時は除きます。



お手入れ

日常のお手入れ

いつもピカピカに保つには・・・

やわらかい布で水ぶきする

水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。



アドバイス

- 製品はプラスチックでできていますので、かわいた布やトイレトペーパーなどでふかないでください。傷つきの原因になります。また、ノズル本体は汚れをはじく効果が低下します。
- ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入らないよう十分に気をつけてください。洗剤が本体と便器のすき間に残らないようにしっかりふき取ってください。
- 着座センサー、リモコン送信部・受信部をきれいにしましょう!汚れていると各機能が作動しないことがあります。
☎28, 45～47ページ



便器用洗剤が付着したときは・・・

やわらかい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。

汚れがひどいときは・・・

ウォシュレットクリーナー、またはうすめた台所用洗剤（中性）をふくませたやわらかい布でふき取ってください。

ウォシュレットクリーナーのお求めは ☎51ページ

その後、水ぶきを行ってください。



ご注意ください!

便器内を洗剤でお手入れするときは・・・
便器内の掃除にトイレ用洗剤及び消毒剤などを使用するときは、早目（3分以内）に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。また、便器についた洗剤は確実にふき取ってください。
（便器用洗剤などの気化ガスがウォシュレット本体に入り、故障の原因になります。）

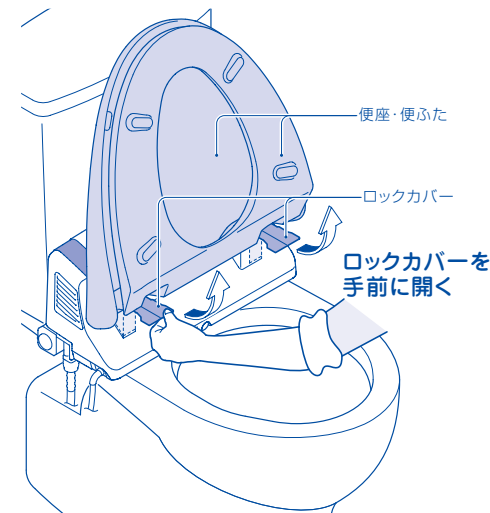
お手入れ

念入りなお手入れ

本体、便座、便ふた

便座・便ふたが取りはずせますので、すみずみまで掃除できます。

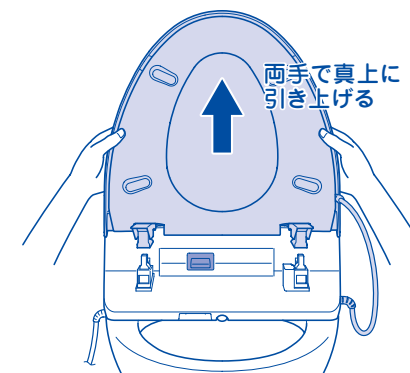
① 便座・便ふたを開けて、左右のロックカバーを開ける



② 便座・便ふたを両手で真上に引き上げる

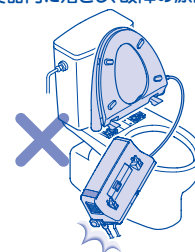
※便座コードははずせません。

※斜めに引き上げたり、無理に力を加えないでください。（破損の原因になります。）



アドバイス

- 取りはずした便座・便ふたは傷がつかないように置いてください。
- 便座・便ふたを取りはずして掃除するときは、本体を取りはずさないでください。（床や便器内に落とし、故障の原因になります。）



③ 本体及び便座・便ふたの掃除をする

お手入れのしかたは・・・

☎36ページの「日常のお手入れ」と同じ要領で行ってください。

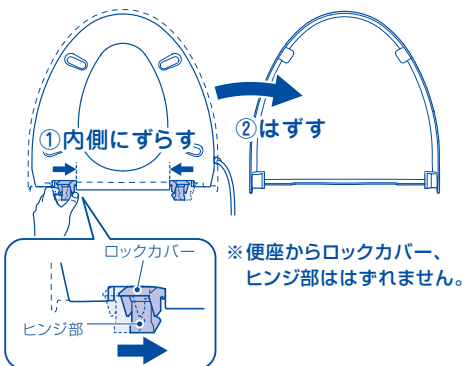


お手入れの前に／日常のお手入れ／念入りなお手入れ

便座から便ふたをはずすことができます！

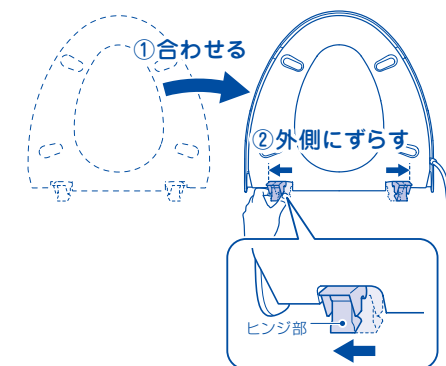
【取りはずしかた】

- ①左右のヒンジ部を内側に動かす
- ②便座と便ふたがはずれる



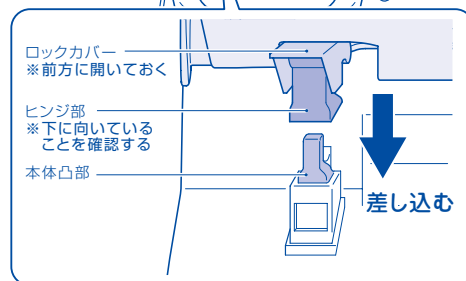
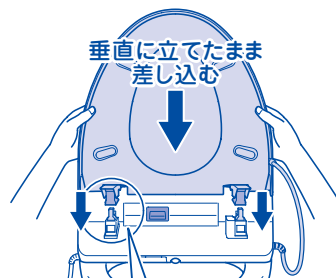
【取り付けかた】

- ①便ふたの上に便座を合わせる
- ②左右のヒンジ部を外側に動かす

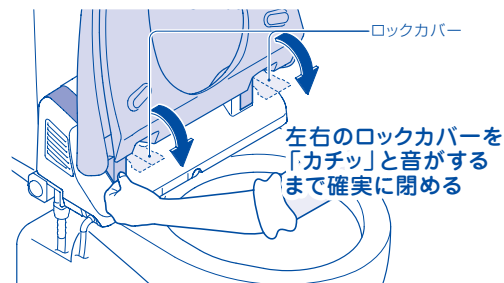


4 左右のヒンジ部を本体凸部に合わせて差し込む

左右のヒンジ部を下に向けてください。
※便座コードを便器と便座の間にはさまないようにしてください。
※便座コードをねじったまま取り付けないでください。



5 ロックカバーを閉める



本体と便器のすき間

月に1度
お手入れ

本体をはずして、便器の上面や本体底面も掃除できます。

1 電源プラグを抜く

2 本体を取りはずす

本体右側の本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を押したまま、本体を手前に引いてください。

※給水ホース、電源コードがありますので、無理に引っ張らないでください。

アドバイス

- 本体をはずした状態で本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を引くと、製品内の水が出てきます。（約1.2L）
- 本体はずしボタン（及び水抜きレバー）は水抜きするとき以外は引かないでください。

3 掃除をする

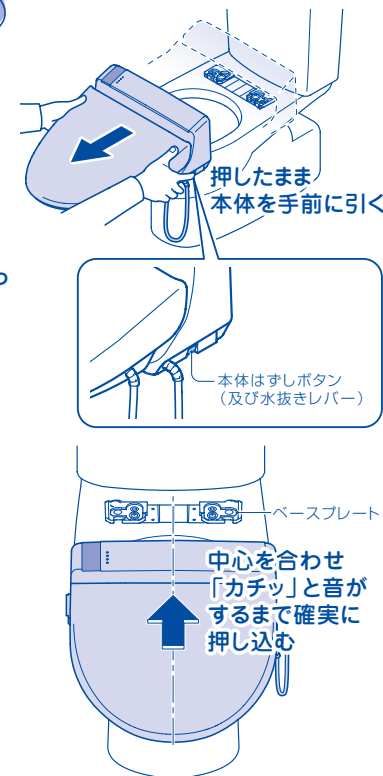
☞36ページの「日常のお手入れ」と同じ要領で行ってください。

4 本体を取り付ける

- ①本体の中心とベースプレートの中心を合わせる
- ②便器面に本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む

※本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。

5 電源プラグを差し込む



お手入れ

定期的なお手入れ

電源プラグ

正常に作動することを確認してください。

月に1度
点検

1 電源プラグを抜く

2 掃除をする

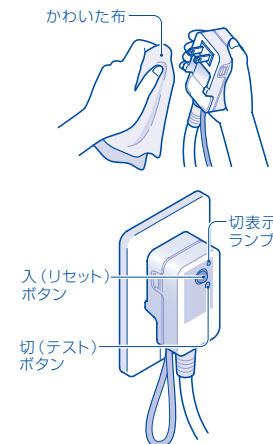
電源プラグの刃などについたほこりをかわいた布で取り除いてください。

3 電源プラグを差し込む

根元まで確実に差し込んでください。

4 点検をする

- 「切（テスト）」ボタンを押す（「切表示」ランプが点灯します。）
- 「入（リセット）」ボタンを押す（「切表示」ランプが消灯します。）



念入りなお手入れ／定期的なお手入れ

脱臭フィルター

においが気になる場合は、本体をはずして脱臭フィルターの掃除を行ってください。

月に1度
お手入れ

1 電源プラグを抜いて本体を取りはずす

本体のはずしかたは 39ページ

2 脱臭フィルターをはずす

3 掃除をする

アドバイス

- フィルターは水洗いできますが、取り付ける前に水気を取ってください。
- フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。

交換部品／別売品 51ページ

4 脱臭フィルターを取り付ける

※フィルターなしでの使用は絶対にしないでください。(故障の原因になります。)

5 本体を取り付けて電源プラグを差し込む

本体の取り付けかたは 39ページ

ノズル

ノズルがお湯を出さずに伸出するので掃除がラクにできます。

1 リモコンのノズルそうじ入/切を押す、ノズルを出す

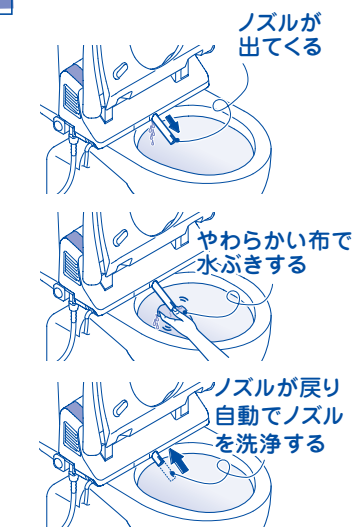
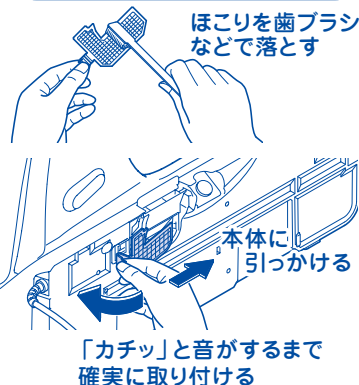
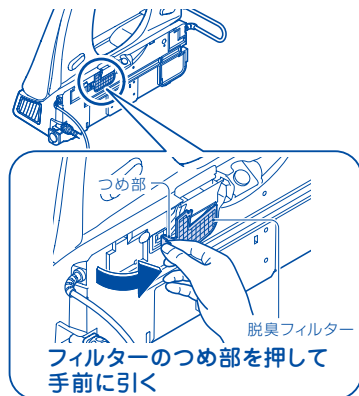
- ノズルの根元から掃除のための水が出ます。
- ノズルは約5分後に自動で戻ります。



2 掃除をする

※ノズルを無理に引っ張ったり、押さえたりしないでください。(破損や故障の原因になります。)

3 ノズルそうじ入/切を押す、ノズルを戻す



給水フィルター

洗浄の水勢が弱くなったと感じたら、給水フィルターの掃除を行ってください。

1 止水栓を閉めて給水を止める

① 止水栓を(○)ドライバーで閉める

- ② ノズルそうじ入/切を押す、ノズルを伸出させた後、もう一度ノズルそうじ入/切を押す(給水管の圧抜きをします。)

注意



止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない
禁止 水が噴き出します。

2 キャップを○ドライバーで開ける

3 給水フィルター付水抜栓をはずす

4 掃除をする

- ※小さいゴミは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。
- ※給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも、綿棒などで取り除いてください。

アドバイス

- 洗剤は使わず水洗いしてください。
- フィルターをはずしたり、破ったりしないでください。
- フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。交換部品／別売品 51ページ

5 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

注意

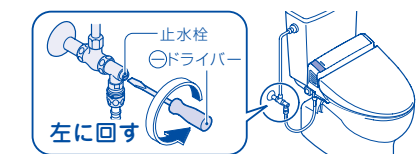
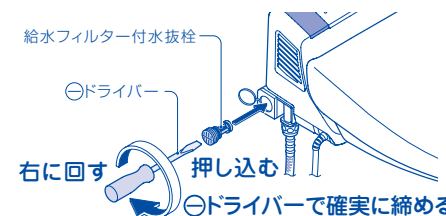
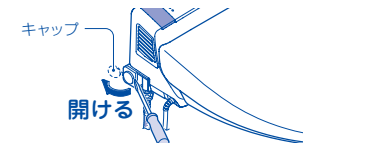
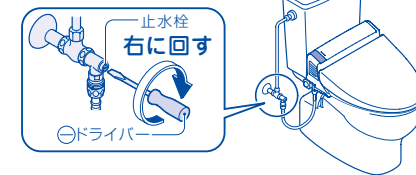


給水フィルター付水抜栓は確実に締める
必ず 確実に締めないと水漏れの原因になります。

6 止水栓を開ける

※給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていないか、確認してください。

7 キャップを閉める



定期的なお手入れ

凍結による破損の予防及び 長期間使わないときの処置

凍結が予想されるとき

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ室内をあたためるか、できないときは水抜きを行ってください。
凍結のおそれがある場合は、次の手順に従って予防してください。
製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因になります。

ご注意ください！

凍結予防の作業前には、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。

アドバイス

節電はしないでください。
凍結により製品が破損することがあります。
タイマー節電をやめるときはP33ページ
おまかせ節電をやめるときはP34ページ

水抜きのしかた

① ロータンクの水を抜く

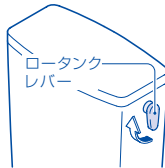
① 止水栓を⊖ドライバーで閉めて、給水を止める



② ロータンクレバーを大洗浄側に回し、ロータンクの水を抜く

アドバイス

ロータンクの水が流れ出てしまうまで、ロータンクレバーを回したままにしてください。



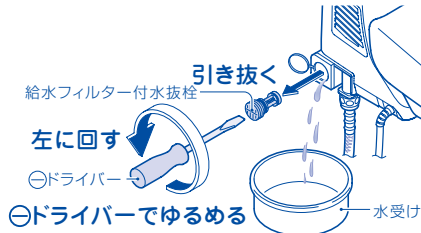
② 配管の水を抜く

① 操作部のノズルを押し入/切を押す（製品内部の残水を抜きます。）

② キャップを⊖ドライバーで開ける



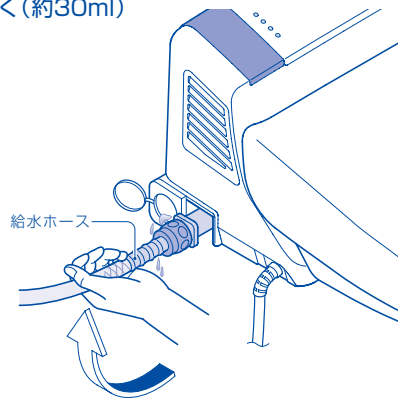
③ 給水フィルター付水抜栓をはずす



注意

止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない
禁止 水が噴き出します。

④ 給水ホースを水平にして、ホース内の水を抜く（約30ml）

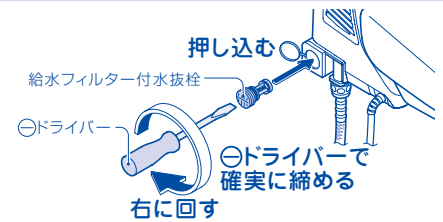


⑤ もう一度、ノズルを押し入/切を押す（ノズルを元に戻します。）

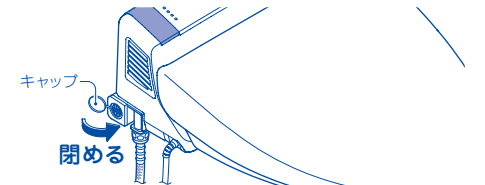
⑥ 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める
必ず 確実に締めないとき水漏れの原因になります。



⑦ キャップを閉める



③ ウォシュレット内を保温する

① 本体表示部の「運転」ランプが点灯していることを確認し、リモコンの温水・便座温度設定を「高」にする

② 便ふたを閉める



長期間使わないときの処置

長期間使用しないときは、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になります。
また、製品が凍結するおそれがありますので、水抜きを行ってください。

アドバイス

【水抜きをしましょう！】
・冬季に帰省されるとき
・別荘などで使用されるとき
冬季の留守のときは冷え込みが厳しくなります。
凍結予防のために、必ず水抜きをしてください。

水抜きのしかた

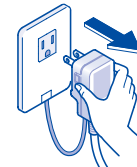
① ロータンクの水を抜く

P42ページ

② 配管の水を抜く

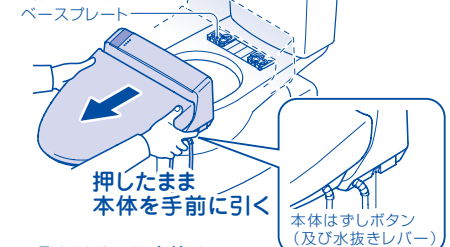
P42ページ

③ 電源プラグを抜く



④ 本体を取りはずす

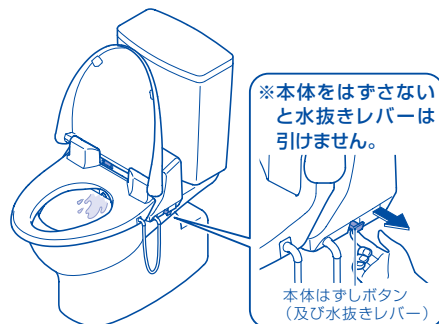
本体右側の本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を押したまま、本体を手前に引いてください。



※取りはずした本体は、便器上面の前側に置いてください。

⑤ 本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を引いて本体内の水を抜く

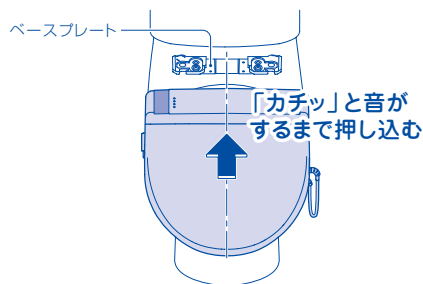
ノズルの横から水が出ますので便器内に排水してください。完全に抜けるまで3分くらいかかります。



⑥ 本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を戻す

⑦ 本体を取り付ける

- ① 本体の中心とベースプレートの中心を合わせる
 - ② 便器面に本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む
- ※本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



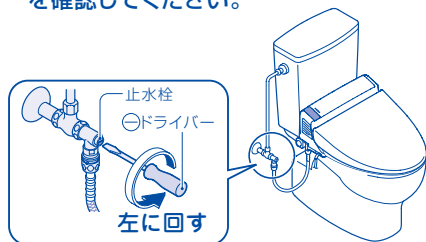
⑧ 便器に不凍液を入れる

水抜き後に再通水するとき

① 止水栓を開ける

止水栓を○ドライバーで開けてください。

※配管や本体から水漏れしていないことを確認してください。



② 電源プラグをコンセントに差し込む

着座センサーを白紙でおおい  を押してノズルから約2分間吐水させてください。

(ノズルから吐水するまでは約1分かかります。)
吐水は紙コップなどで受けてください。

アドバイス

残水が凍結して水が出ないときは、トイレ内をあたため、お湯に浸した布で給水ホース及び止水栓をあたためてください。

こんなときは

故障かな?!と思ったら

故障かな?!と思ったらまずこの章をご覧ください。処置方法をためてみてください。

それでも直らないときは、販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

TOTOメンテナンス(株) 修理受付センター

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

連絡先

受付：年中無休／受付時間 関東・甲信越地区8:00～20:00
上記以外の地区 9:00～20:00

訪問修理：年中無休（一部地域を除く）／営業時間 9:00～18:00

修理を依頼するときは、電源プラグは必ず抜いておいてください。

⚠ 注意

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める

！ 必ず守る

止水栓
右に回す

⊖ドライバー

修理を依頼される前に次のことを確認してください。

全機能		
現象	確認（原因）	処置
全く動かない	停電したりブレーカが切れていませんか。	停電が復旧するまでお待ちください。また、ブレーカを「入」にしてください。
	電源プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか。	「入（リセット）」ボタンを押してください。 ㊧39ページ
	本体表示部のすべてのランプが消灯していませんか。	本体操作部の  を押してください。 ㊧26ページ
	本体がベースプレートからはずれていませんか。	本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。 ㊧39ページ

おしり洗浄・ビデ洗浄		
現象	確認（原因）	処置
洗浄水が出ない	断水していませんか。	 を押し、断水が解除するまでお待ちください。
	止水栓が閉まっていますか。	止水栓を開けてください。 ㊧26ページ
	給水カプラにプラグがきちんと差し込まれていませんか？	止水栓を閉めてから、プラグをきちんと差し込み直してください。 ㊧23ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ㊧47ページ
洗浄水勢が弱い	本体がベースプレートからはずれていませんか。	本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。 ㊧39ページ
	水勢の設定が弱くなっていませんか。	リモコンの「水勢調節」スイッチの  を押してください。 ㊧28ページ
洗浄水が冷たい	給水フィルターが詰まっていますか。	給水フィルターを掃除してください。 ㊧41ページ
	温水温度の設定が「切」、または低くなっていませんか。	リモコンの  で調節してください。 ㊧29ページ
洗浄水が途中で止まった	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座ってから約10分お待ちください。 ㊧33ページ
	 または  を押してから約5分後に自動で止まります。	もう一度  または  を押してください。 ㊧28ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ㊧47ページ

凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置／故障かな?!と思ったら

?

暖房便座

現象	確認（原因）	処置
便座があたたくならない	便座ヒータが「切」、または便座温度の設定が低くなっていますか。	リモコンの ^{便座} ⊕⊖で調節してください。 ㊦29ページ
	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座るとヒータが入り、約15分であたたかくなります。㊦33ページ
	おまかせ節電中になっていませんか。	便座に座ると一時的にあたたかくなります。 ㊦34ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ㊦47ページ
便座が冷たくなった	便座に座ってから約1時間後に自動で便座ヒータが切れます。便座から離れると自動で便座ヒータが入ります。	—

脱臭

現象	確認（原因）	処置
便座から立ち上がると脱臭の音が大きくなる	はじめは、オートパワー脱臭が「入」になっています。オートパワー脱臭は便座から立ち上がると、吸い込む力をアップさせて脱臭するように設定されています。	—
脱臭が作動しない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ㊦47ページ
	本体がベースプレートからはずれていませんか。	本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。㊦39ページ
あまりにおいがとれないときがある	脱臭フィルターが詰まっていますか。	脱臭フィルターを掃除してください。 ㊦40ページ
	脱臭フィルターが詰まっていますか。	脱臭フィルターの掃除をしてもにおいが気になる場合は、脱臭カートリッジの交換をおすすめします。 ㊦48ページ
脱臭が勝手に作動した	次のような場合、着座センサーが検知して、脱臭が作動することがあります。故障ではありません。 ●掃除のとき ●ロータンクレバーを操作したとき など	—

節電機能

現象	確認（原因）	処置
おまかせ節電のスイッチを入れても節電しない	トイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで2～3日かかります。	—
	同じ時間帯に週3回程度お使いになると節電しないことがあります。故障ではありません。	—
正しい時間に節電しない	電源プラグを抜いたり、停電していませんか。	その日は正常にはたらかない場合がありますが、翌日から通常通りにはたらくようになります。
	電源プラグを抜いたり、停電したときにリモコンの電池交換をしませんでしたか。（設定時間がずれることがあります。）	リモコンの ^{タイマー} ⊕または ^{おまかせ} ⊖を押す、もう一度設定しなおしてください。徐々に正しい時間に節電し直します。㊦33、34ページ
節電しなくなった	リモコンの電池交換をしませんでしたか。（設定が消えることがあります。）	リモコンの ^{タイマー} ⊕または ^{おまかせ} ⊖を押す、もう一度設定し直してください。㊦33、34ページ

ソフト閉止

現象	確認（原因）	処置
便座・便ふたカバーをつけると閉まりかたが速くなった	カバーの重さで少し速くなります。故障ではありません。	—
夏と冬で閉まる速さが変わった	室温変化や使用頻度によって少し速さが変わります。故障ではありません。	—

リモコン

現象	確認（原因）	処置
リモコンで操作できない	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池に交換してください。 ㊦25ページ
	乾電池の⊕⊖の方向をまちがえていませんか。	乾電池を正しく入れてください。 ㊦25ページ
	リモコン送信部・受信部が何かでおおわれていますか。	ぞうきんなどおおっているものを取り除いてください。
	リモコン送信部・受信部にゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ㊦47ページ
	リモコンのスイッチを押したとき、リモコン表示部がいったん消えていますか。この場合は乾電池が消耗しています。	新しい乾電池に交換してください。 ㊦25ページ
リモコンの電池を取り替えた後、便座温度、タイマー節電などの設定が変わった	本体がベースプレートからはずれていませんか。	本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。㊦39ページ
	電池を取り替えると設定が変わります。（例…タイマー節電を「入」にしているが「切」になる）	もう一度設定をやり直してください。

着座センサー

現象	確認（原因）	処置
便座に座っていないのに、スイッチを押すとおしり洗浄や脱臭などが作動する	着座センサーがおおわれていますか。	着座センサーをおおわないようにしてください。 ㊦28ページ
	着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
便座に座っているのに、おしり洗浄や脱臭などが作動しない	座りかた、服の色、布地によって着座センサーが検知しにくいことがあります。	便座に深く腰掛けたり、衣服を少し持ち上げ肌を検知するようにしてお使いください。
	衣服で着座センサーがおおわれていますか。着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	衣服またはゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
便座が冷たいおしり洗浄などが作動しない	市販品の便座・便ふたカバーを取り付けていませんか。市販品の便座・便ふたカバーを取り付けると着座センサーが長時間検知したままとなり便座ヒータやおしり洗浄などが作動しなくなります。	市販のカバーをはずして、電源プラグの「入」「切」ボタンを押してリセットしてください。便座・便ふたカバーは、TOTO専用品を取り付けてください。 ㊦51ページ

その他

現象	確認（原因）	処置
本体がガタつく	本体を固定しているベースプレートのボルトがゆるんでいますか。	ベースプレートのボルトをしっかりと締め直してください。
配管接続部から水漏れしている	接続ナットがゆるんでいますか。	モンキーレンチで増し締めしてください。

脱臭カートリッジの取り替えかた

脱臭フィルターを掃除しても、まだにおいが気になる場合は、脱臭カートリッジの交換をおすすめします。

1 本体を取りはずす

本体右側の本体はすしボタン（及び水抜きレバー）を押したまま、本体を手前に引いてください。



2 本体左側のルーバーをはずす

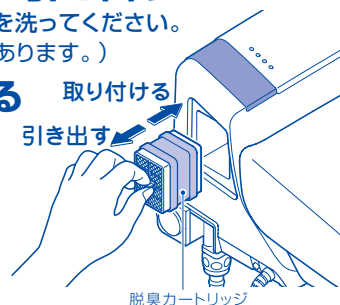


3 脱臭カートリッジの突起をつまんで引き出す

※脱臭カートリッジの黒粉が手についた場合は、すぐに手を洗ってください。（皮膚や目などに接触した場合、炎症を起こすおそれがあります。）

4 新しい脱臭カートリッジを取り付ける

※脱臭カートリッジは確実に奥まで押し込んでください。
脱臭カートリッジは図のように押し込んでください。

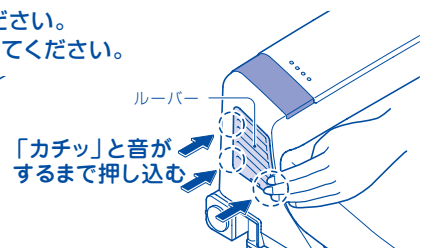
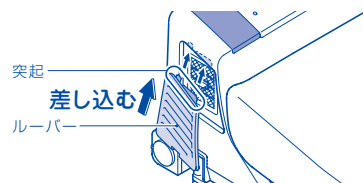


5 ルーバーを取り付ける

①ルーバーの突起を本体に差し込む

②「カチッ」と音がするまでルーバーを押し込む

※ルーバーを2～3ヵ所押さえて取り付けてください。
ルーバーが本体より出ていないことを確認してください。

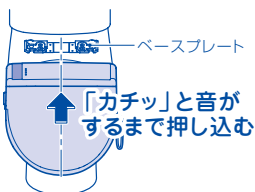


6 本体を取り付ける

①本体中心とベースプレートの中心を合わせる

②便器面に本体をすべらせて、「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む

※本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



アフターサービス

修理を依頼される前に、「故障かな?!と思ったら」の項をご確認ください。

保証書

- 必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

ウォシュレットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造切後6年です。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

部品交換について

無料修理により取りはずされた部品・製品はTOTO（株）の所有となります。

保証期間経過後修理を依頼されるとき

お求めの販売店またはTOTOメンテナンス（株）修理受付センターにまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理します。

保証期間中に修理を依頼されるとき

- もう一度説明書をよくお読みいただきご確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めの販売店またはTOTOメンテナンス（株）修理受付センターに修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。
- 修理を依頼されるときは必ず保証書をご提示ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名
品番（TCF355）
お買い上げ日…保証書をご覧ください。
- 訪問ご希望日

【お客様の個人情報のお取り扱い】

お客様からお預りした個人情報に関連法令及び社内諸規定に基づき、慎重かつ適切にお取り扱いします。
詳しくはTOTOホームページ
<http://www.toto.co.jp/>をご覧ください。

定期点検のおすすめ（有料）

- 逆流防止装置（バキュームブレーカー、Oリング）は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。（水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。）
- 機能部品は、お買い上げ日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。なお、点検はTOTOメンテナンス（株）修理受付センターにご依頼ください。

お問い合わせ先

TOTOメンテナンス（株）修理受付センター

TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02

受付：年中無休／受付時間 関東・甲信越地区8:00～20:00
上記以外の地区 9:00～20:00

訪問修理：年中無休（一部地域を除く）／営業時間 9:00～18:00

- 定期点検を行った日付を記入しておきましょう!

	日付
お買い上げ日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

修理料金のしくみ（TOTOメンテナンス（株）修理受付センターにご依頼の場合）

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に使用した部品代です。

診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

仕様

項 目		内 容
定 格	電 源	交流100V 50/60Hz
定 格	消 費 電 力	417W
区 分	※1	貯湯式
年 間	消 費 電 力 量	200kWh/年 (270kWh/年)
電 源	コ ー ド 長 さ	1.0m (漏電保護プラグ、アース線付)
洗 浄 装 置	吐水量	おしり洗 浄 約0.35～0.90L/min (水圧0.2MPaのとき)
	ビ デ 洗 浄	約0.45～1.00L/min (水圧0.2MPaのとき)
	吐 水 温 度	温度調節範囲 切、約30～40℃
	ヒ ー タ 容 量	350W
	タ ン ク 容 量	1.14L
	安 全 装 置	温度ヒューズ、温度過昇防止器、空焚き防止フロートスイッチ
逆 流 防 止 装 置		パキュームブレーカー、逆流弁
暖 房 便 座	表 面 温 度	温度調節範囲 切、約30～38℃ (おまかせ節電時 約26℃)
	ヒ ー タ 容 量	50W
	安 全 装 置	温度ヒューズ
脱 臭 装 置	方 式	O ₂ 脱臭
	風 量	標準モード:0.09m³/min パワーモード:0.16m³/min以上
給 水 圧 力		最低必要水圧:0.05MPa (流動圧) 最高水圧:0.75MPa (静水圧)
給 水 温 度		0～35℃
周 囲 使 用 温 度		0～40℃
製 品 寸 法		幅425mm、奥行535mm、高さ180mm
製 品 質 量		4.9kg

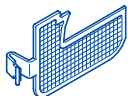
※1 省エネ法(2012年度基準)の区分
 ※2 省エネ法(2012年度基準)に基づいた測定値
 ()内はタイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量

抗 菌 (※抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接触れないと発揮されません。)

抗 菌 効 果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA認定試験所で実施し、その結果がJIS Z2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、めめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。		
抗 菌 加 工 部 位	暖房便座、便ふた、ノズルヘッド、リモコン(スイッチ)	禁 止 事 項	酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
抗 菌 剤 の 種 類	無機系(銀)	取 扱 注 意 事 項	抗菌力を発揮させるために、製品の表面はよく掃除された状態に保ってください。
抗 菌 性 能 持 続 性	(社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認		
安 全 性	(社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認		

交換部品／別売品

●品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

交 換 部 品		
脱臭フィルター (品番:D45339)  【希望小売価格¥30 (税込¥32)】	給水フィルター付水抜栓 (品番:D43409Z)  【希望小売価格¥325 (税込¥341)】	便座クッション (品番:D57045-1R)  【希望小売価格¥30 (税込¥32)】
便ふたクッション (品番:D42165R)  【希望小売価格¥25 (税込¥26)】	脱臭カートリッジ (品番:TCA83-3)  【希望小売価格¥1,350 (税込¥1,418)】	

別 売 品	
ウォシュレットクリーナーきりあ (品番:ENL500)  ●汚れをスッパリ落とす除菌剤配合の便座専用洗剤です。ウォシュレットをお求めの販売店、TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターでご購入できます。 希望小売価格:¥1,000 (税込 ¥1,050) 容量:185ml	
便座・便ふたカバー ●便座・便ふたカバーをお取り付けになるときは、必ずTOTO専用カバーをお求めください。 ※市販のカバーでは取り付けができない場合や便座が立たなかったり、誤作動の原因になることがあります。	

らくらくリモコン
 ●だれにでも使いやすい大きなスイッチのリモコンです。(寸法:幅220mm 奥行25mm 高さ84mm)



【希望小売価格¥7,500 (税込¥7,875)】

商品のお問い合わせはTOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010
 FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間: 平日 9:00～18:00
 土・日・祝日 10:00～18:00
 (夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

部品のご購入はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ

TEL ☎ 0120-8282-55
 FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間: 平日 9:00～18:00
 土・日・祝日 10:00～18:00
 (夏期休暇・年末年始を除く)